

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、 経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、 経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、 経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)、 経営学部 経営学科(留学2017)、経営学部 イベント(留学2017)、経営学部 イベント(2017)、経営学部 経営学科(2017)
配当学年 (履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	社会学 BE-A
講義名 (英語表記) Name of Subject (English)	Sociology
担当教員 Instructor	難波 俊樹
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員が編集者として雑誌制作に携わってきた経験を生かし、メディアから発信される情報の真偽を考える方法を講義内で伝える。

【授業概要・本科目で取り扱う テーマ】 Course Description	<p>私たちの社会を取り巻く事象を、社会学を通じて考察します。受講者が自らの視点と判断基準をもって事象をとらえることができるようになることを目的とします。 春学期は、ネット社会、コミュニケーション、テクノロジー、個人の権利やプライバシーを中心とします。 また、社会情勢にあわせて適宜内容を変更して、最新の社会情勢の考察に取り組むことがあります。</p>					
【到達目標】 Course Objectives	<p>社会への理解を深める：自分の視点をしっかり持って社会の事象をとらえることができる。</p> <p>社会を多面的にとらえる：クリティカルシンキングができる。</p> <p>基礎知識の習得：社会事象を理解するための基礎知識が習得できたか。</p>					
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions						
【教育方法】 Teaching Method	<p>講義：70%</p> <p>グループワーク：30%</p>					
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books						
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	忍耐力 endurance
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity	○

【成績評価・評価上の留意事項 (試験方法、単位修得要件)】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法	
	定期試験	60%	定期試験とグループワークへの取り組み状況の総合評価となります。 グループワークへの参加は必須となりますが、回によってはwebを活用して実施する場合もあります。	
	グループワークへの取り組み状況	40%		
		合計	100%	

【その他の注意事項】 Others	グループワークに参加しない学生は、定期試験の受験資格を認めません。 参加できない学生は第一回の授業で書面で申告してください。
----------------------	---

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	全体ガイダンス：視点を持つことの重要性	どのような姿勢、準備でこの講義に取り組んでいただきたいか。 自分の視点を持つことの重要性。 観察することの重要性。 社会学とは何か？		
	【予習内容】 Preparation	「社会学」に対する自分なりの考察	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No2	思考の練習	社会学を学ぶにあたって、 ・知識とは何か？ ・事実とは何か？ ・様々な思考法 についてのワークショップを行う。		
	【予習内容】 Preparation	「社会学」に対する考察	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No3	インターネットで社会はどう変化したか？	Beforeインターネット社会とAfterインターネット社会はどのように変化したのか。 ビジネスのありかた、社会のありかた、個人のありかたまで変えてしまった、この変化を考察する。		
	【予習内容】 Preparation	SNSのメリットデメリットについて考察しておく	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No4	テクノロジーと社会	インターネット以外にも、社会を大きく変えたテクノロジーがある。 また、その変化は社会や人間にプラスの変化だけではなく、マイナスの変化ももたらした。 いくつかのその変革を功罪両方の側面から考察する。		
	【予習内容】 Preparation	社会を変えたテクノロジーについての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	「個」と「公」	民主主義の成立からこれまでの経緯を踏まえて現在の民主主義が抱える課題やジレンマを考察し、成熟社会日本のこれからの時代の個人と社会の関係性を考える。 【キーワード】 ・well-being ・ダイバーシティ ・プライバシー		
	【予習内容】 Preparation	民主主義と様々な制度についての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No6	データから世界を眺める	私たちが知っている「世界」は果たして真実か。実際のデータをもとに、自分たちの認識が正しかったか、正しくなかったかを検証する。 現在の社会をデータを通して理解を深める。 【キーワード】 ・南北格差 ・富の集中 ・分断		
	【予習内容】 Preparation	前時に指定した課題に取り組む	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No7	ビッグデータとは何か	ビッグデータについての概説から、実際のビジネスでどのようにビッグデータが活用されているかのケーススタディを行う。 【キーワード】 ・データ倫理 ・データ活用ビジネス ・ポイントカード ・人流		
	【予習内容】 Preparation	ビッグデータ活用ビジネスに関する下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	65	分
No8	AIと社会を考える	急速に発展し、実社会での活用が進む人工知能。これからのビジネスではさらに人工知能を活用することが求められる。本講義では技術的側面とビジネス的側面の双方から人工知能を考える。		
	【予習内容】 Preparation	人工知能がビジネスに活用されている事例に関する下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No9	情報社会論①	世界で流れている様々なフェイクニュースを通して以下の事象について考察する。 ・「真実」とは何か？ ・情報の発信には様々な意図があること。 ・人はなぜフェイクニュースを信じるのか？ ・人の認知にあるひずみ。		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No10	情報社会論②	都市伝説について事例を取り上げ、それらが流布される背景を考察する。 【キーワード】 ・都市化 ・ネットロア		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

No11	情報社会論③	ウクライナ戦争では当事者国の双方が虚々実々の情報戦争を仕掛けていた。ネット上の様々なフェイク情報の分析を通して、人はなぜフェイクニュースを信じるかを考察する。 【キーワード】 ・情報戦争 ・ディープフェイク ・ファクトチェック		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No12	情報社会論④	なぜデマが生まれるのか、そしてそれが広まっていくのか。歴史的な「デマ」事件を取り上げ、心理学・社会学な考察を行う。 【キーワード】 ・デマ ・情報の拡散 ・エセ科学／疑似科学		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No13	ワークショップ①	これまでの講義内容をふまえて、少人数グループに分かれ、テーマを設定し、発表資料を作成する。		
	【予習内容】 Preparation	ワークショップのための下調べ前時に指示します)	120	分
	【復習内容】 Review	発表のための準備	120	分
No14	ワークショップ②	ワークショップ①で作成した資料を発表する。		
	【予習内容】 Preparation	発表のための準備（前時に指示します)	120	分
	【復習内容】 Review	発表の振り返り	120	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、 経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、 経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、 経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)、 経営学部 経営学科(留学2017)、経営学部 イベント(留学2017)、経営学部 イベント(2017)、経営学部 経営学科(2017)
配当学年 (履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	社会学 I BE-B
講義名 (英語表記) Name of Subject (English)	Sociology I
担当教員 Instructor	難波 俊樹
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前期)
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員が編集者として雑誌制作に携わってきた経験を生かし、メディアから発信される情報の真偽を考える方法を講義内で伝える。

【授業概要・本科目で取り扱う テーマ】 Course Description	<p>私たちの社会を取り巻く事象を、社会学を通じて考察します。受講者が自らの視点と判断基準をもって事象をとらえることができるようになることを目的とします。 春学期は、ネット社会、コミュニケーション、テクノロジー、個人の権利やプライバシーを中心とします。 また、社会情勢にあわせて適宜内容を変更して、最新の社会情勢の考察に取り組むことがあります。</p>																
【到達目標】 Course Objectives	<p>社会への理解を深める：自分の視点をしっかり持って社会の事象をとらえることができる。</p> <p>社会を多面的にとらえる：クリティカルシンキングができる。</p> <p>基礎知識の習得：社会事象を理解するための基礎知識が習得できたか。</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions																	
【教育方法】 Teaching Method	<p>講義：70%</p> <p>グループワーク：30%</p>																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books																	
【実務 Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td>○</td> <td>主張力 assertiveness</td> <td></td> <td>創造力 creativity</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity			○
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity			○										

【成績評価・評価上の留意事項 (試験方法、単位修得要件)】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	定期試験	60%	定期試験とグループワークへの取り組み状況の総合評価となります。 グループワークへの参加は必須となりますが、回によってはwebを活用して実施する場合があります。
	グループワークへの取り組み状況	40%	
合計	100%		

【その他の注意事項】 Others	グループワークに参加しない学生は、定期試験の受験資格を認めません。 参加できない学生は第一回の授業で書面で申告してください。
----------------------	---

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	全体ガイダンス：視点を持つことの重要性	どのような姿勢、準備でこの講義に取り組んでいただきたいか。 自分の視点を持つことの重要性。 観察することの重要性。 社会学とは何か？		
	【予習内容】 Preparation	「社会学」に対する自分なりの考察	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No2	思考の練習	社会学を学ぶにあたって、 ・知識とは何か？ ・事実とは何か？ ・様々な思考法 についてのワークショップを行う。		
	【予習内容】 Preparation	「社会学」に対する考察	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No3	インターネットで社会はどう変化したか？	Beforeインターネット社会とAfterインターネット社会はどのように変化したのか。 ビジネスのありかた、社会のありかた、個人のありかたまで変えてしまった、この変化を考察する。		
	【予習内容】 Preparation	SNSのメリットデメリットについて考察しておく	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No4	テクノロジーと社会	インターネット以外にも、社会を大きく変えたテクノロジーがある。 また、その変化は社会や人間にプラスの変化だけではなく、マイナスの変化ももたらした。 いくつかのその変革を功罪両方の側面から考察する。		
	【予習内容】 Preparation	社会を変えたテクノロジーについての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	「個」と「公」	民主主義の成立からこれまでの経緯を踏まえて現在の民主主義が抱える課題やジレンマを考察し、成熟社会日本のこれからの時代の個人と社会の関係性を考える。 【キーワード】 ・ well-being ・ ダイバーシティ ・ プライバシー		
	【予習内容】 Preparation	民主主義と様々な制度についての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No6	データから世界を眺める	私たちが知っている「世界」は果たして真実か。実際のデータをもとに、自分たちの認識が正しかったか、正しくなかったかを検証する。 現在の社会をデータを通じて理解を深める。 【キーワード】 ・ 南北格差 ・ 富の集中 ・ 分断		
	【予習内容】 Preparation	前時に指定した課題に取り組む	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No7	ビッグデータとは何か	ビッグデータについての概説から、実際のビジネスでどのようにビッグデータが活用されているかのケーススタディを行う。 【キーワード】 ・ データ倫理 ・ データ活用ビジネス ・ ポイントカード ・ 人流		
	【予習内容】 Preparation	ビッグデータ活用ビジネスに関する下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	65	分
No8	A I と社会を考える	急速に発展し、実社会での活用が進む人工知能。これからのビジネスではさらに人工知能を活用することが求められる。本講義では技術的側面とビジネス的側面の双方から人工知能を考える。		
	【予習内容】 Preparation	人工知能がビジネスに活用されている事例に関する下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No9	情報社会論①	世界で流れている様々なフェイクニュースを通して以下の事象について考察する。 ・ 「真実」とは何か？ ・ 情報の発信には様々な意図があること。 ・ 人はなぜフェイクニュースを信じるのか？ ・ 人の認知にあるひずみ。		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No10	情報社会論②	都市伝説について事例を取り上げ、それらが流布される背景を考察する。 【キーワード】 ・ 都市化 ・ ネットロア		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

No11	情報社会論③	ウクライナ戦争では当事者国の双方が虚々実々の情報戦争を仕掛けていた。ネット上の様々なフェイク情報の分析を通して、人はなぜフェイクニュースを信じるかを考察する。 【キーワード】 ・情報戦争 ・ディープフェイク ・ファクトチェック		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No12	情報社会論④	なぜデマが生まれるのか、そしてそれが広まっていくのか。歴史的な「デマ」事件を取り上げ、心理学・社会学な考察を行う。 【キーワード】 ・デマ ・情報の拡散 ・エセ科学／疑似科学		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No13	ワークショップ①	これまでの講義内容をふまえて、少人数グループに分かれ、テーマを設定し、発表資料を作成する。		
	【予習内容】 Preparation	ワークショップのための下調べ前時に指示します)	120	分
	【復習内容】 Review	発表のための準備	120	分
No14	ワークショップ②	ワークショップ①で作成した資料を発表する。		
	【予習内容】 Preparation	発表のための準備（前時に指示します）	120	分
	【復習内容】 Review	発表の振り返り	120	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
配当学年 (履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	社会学 II BE-K
講義名 (英語表記) Name of Subject (English)	Sociology II
担当教員 Instructor	難波 俊樹
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員が編集者として行ってきた書籍・雑誌の企画立案の経験を生かし、メディアと大衆文化の関係について考察する機会を講義内に設けている。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>私たちの社会を取り巻く事象を、社会学を通じて考察します。受講者が自らの視点と判断基準をもって事象をとらえることができるようになることを目的とします。秋学期は、テレビ、映画、出版、音楽を中心とし、歴史的な経緯から未来への考察までつなげていきます。また、社会情勢にあわせて適宜内容を変更して、最新の社会情勢の考察に取り組むことがあります。</p>																
【到達目標】 Course Objectives	<p>社会への理解を深める：自分の視点をしっかり持って社会の事象をとらえることができる。</p> <p>社会を多面的にとらえる：クリティカルシンキングができる。</p> <p>基礎知識の習得：社会事象を理解するための基礎知識が習得できたか。特に本講義では戦後～現在に至る日本の経済や文化などの知識を深める。</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions																	
【教育方法】 Teaching Method	講義+グループディスカッション																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	特になし																
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td></td> <td>創造力 creativity</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity		○	
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity		○											

【成績評価・評価上の留意事項 (試験方法、単位修得要件)】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	定期試験	60%	定期試験とグループワークへの取り組み状況の総合評価となります。 グループワークへの参加は必須となりますが、回によってはwebを活用して実施する場合があります。
	グループワークへの取り組み状況	40%	
		合計	100%

【その他の注意事項】 Others	グループワークに参加しない学生は、定期試験の受験資格を認めません。 参加できない事情がある学生は第一回の授業で書面で申告してください。
----------------------	--

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	全体のガイダンス	本講義のガイダンス 本講義で取り上げるメディアについて メディアとは何か		
	【予習内容】 Preparation	身の回りの「メディア」について	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No2	コミュニケーション論	就職活動や企業の現場で「コミュニケーション力」が重視されるようになって久しいが、そのコミュニケーションの実態は何か、またコミュニケーションを向上させるためには何をすればいいのか、そのものを考察人同士のコミュニケーション、メディアを通じたコミュニケーションを含め、コミュニケーションの基本的な考え方について、実際にいくつかのワークを行うことを通じて理解する。		
	【予習内容】 Preparation	自身のこれまでのコミュニケーションを振り返って考察しておく	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No3	出版とジャーナリズム	ジャーナリズムとは何かを歴史的な経緯や以下のようなテーマから考察する。 ・新聞の歴史 ・戦争とジャーナリズム ・報道被害 ・コマーシャルとジャーナリズム		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No4	出版と文化	雑誌の目次を読むだけで、その時代の社会情勢や若者文化が伝わってくる。 ファッション雑誌、カルチャー雑誌、情報誌などを中心として、20世紀後半から21世紀にかけての社会情勢や若者文化の変遷を考察する。		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	コミックとメディアミックス	クールジャパンの代表格である日本のコミック。コミック雑誌の変遷、コミック雑誌を中心としたキャラクタービジネス、出版を軸としたメディアミックスなどをテーマに産業としてのコミックを考察する。		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No6	映像の興亡史①	映画の起源から黄金期、そしてテレビにとって代われ、そしてまた映画が脚光を浴びるまでを考察する。 ・映画の起源 ・映画とテクノロジー ・娯楽の中心だった映画		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No7	映像の興亡史②	テレビの誕生そして普及がどのように社会に影響を与えたかを、以下のようなテーマから考察する。 ・お茶の間の娯楽 ・身近になった戦争 ・ワイドショー文化 ・アイドル		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No8	映像とメディアミックス	今では当たり前となったメディアミックス。 映画・テレビなど映像を中心としたメディアミックスの事例について考察する。 【キーワード】 ・音楽、出版 ・新ご当地映画 ・地方創生 ・聖地巡礼		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No9	ワークショップ	本講義前半に学んだことを生かしたワークショップを行う。 以下のテーマから1～2に取り組む。 ・2030年代のジャーナリズムは？ ・2030年代に紙の雑誌があるとすればどのようなものか？ ・AIなどデジタル社会の一層の高度化をふまえたジャーナリズムのあり方とは？		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No10	音楽社会論①	JPOPから考える若者文化と音楽 戦後日本は、戦勝国からの進駐軍を迎えることとなったが、軍隊だけではなく文化も流入してきた。その中で洋楽と呼ばれる欧米（特に英米）の音楽と時代はどのように向き合ってきたか。 戦後20年ほどの社会や経済の変化と若者文化のあり方や音楽の志向に対する変化を考察する。		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

No11	音楽社会論②	JPOPから考える若者文化と音楽 高度成長期には日本は政治的にも経済的にも自立を果たした。独立を果たした日本社会の変化とともに若者の文化や考え方の変化した。音楽でも洋楽からどのように独立していったかを考察する。		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No12	音楽社会論③	JPOPから考える若者文化と音楽 高度成長を終えた日本社会と文化の成熟化の中で生まれてきたニューミュージックはJPOPと呼ばれるようになる。若者文化の変化を音楽から考察していく。		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No13	音楽社会論④	JPOPから考える若者文化と音楽 メディアの複製からダウンロードそしてサブスクへと音楽のメディアの変化から、21世紀の音楽と音楽産業を考察する。		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No14	音楽社会論⑤	音楽社会論①～④のいずれかで、実際に音楽産業の現場を担っていた関係者を招いての特別講義を実施。		
	【予習内容】 Preparation	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	コンピュータ・サイエンス BE-A
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Computer Science
担当教員 Instructor	江崎 和夫
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、日本の大手タイマーメーカーで情報学に関連する業務にあたった経験を活かし、企業でのICT活用を取り上げ、仕事にコンピュータを活用できるスキル(技能)を身につける。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>本学においてさまざまな科目を学習していくためにコンピュータの操作方法の基本を身につけることは重要です。また、社会で働くうえで、仕事にコンピュータを活用できるスキル(技能)を身につけることも大切です。そこで本科目は、ビジネス文書や、ビジネスデータの加工などができるコンピュータリテラシーのスキルを身につけることを目指します。そのために、パソコンの基本ソフト(OS)であるWindowsの基本的な操作の学習、ワープロソフトのMicrosoft Wordを使った日本語文書の作成、プレゼンテーションソフトのMicrosoft Powerpointを使った発表用資料の作成、表計算ソフトのMicrosoft Excelを使った表計算処理やグラフの作成、ネットワークの活用の基本などを、実践的な演習を通じて身につけます。</p>																					
【到達目標】 Course Objectives	<p>ワープロソフトでビジネス文書などを作成できるスキル(スキル)を身につけていること。</p> <p>表計算ソフトの基本を理解し関数を活用したデータ処理やグラフの作成ができること。</p> <p>プレゼンテーションソフトを使って効果的な発表資料が作成できること。</p>																					
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	<p>コンピュータの初心者を対象としているので、履修条件はとくにない。</p>																					
【教育方法】 Teaching Method	<p>Word,Excel.Powerpointの各ソフトウェアのパソコン操作テキストの例題でパソコン演習を通じて学習する。確認課題を作成し授業終了時に提出する。応用レベルの課題のポイントの説明を行い、次週締め切りで、パソコンの演習を行う。必要に応じて、必要な知識を問う理解度テストも実施する。</p>																					
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	<p>技術評論社編集部著 「Word & Excel & PowerPoint 2019基本技」 技術評論社発行</p>																					
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td></td> <td>創造力 creativity</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	○	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity								
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	○															
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity																		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	確認課題	50%	確認課題、応用演習課題、実技テストを兼ねた総合演習課題で総合的に評価を行う。		
	応用演習課題	30%			
	定期試験：実技テストを兼ねた総合演習課題	20%			
合計		100%			
【その他の注意事項】 Others	遅刻は2回で欠席1回とする。全授業の3分の1（5回）欠席した場合は、単位が認められない。 毎週、授業時には、パソコンとテキストを持参すること。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス。 Windowsの基本 Wordの基本	授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 Windowsの操作、ファイルの操作、Wordの基本操作。 第1回確認課題1のWordの文字入力の演習、確認課題1の提出を行う。		
		【予習内容】 Preparation	初回なのでない。	0	分
		【復習内容】 Review	第1回確認課題2でWordの文字入力の演習を行う。	150	分
	No2	Wordの操作演習1 Wordの文字入力	さまざまな文字の入力方法、ページ設定、文章の編集の演習。 第2回確認課題1のWordの文字入力の演習、確認課題1の提出を行う。		
		【予習内容】 Preparation	テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	第2回確認課題2でWordの文書入力の演習を行う。	120	分
	No3	Wordの操作演習2 Wordの表作成、文書作成	書式設定、文字の装飾、表の作成、表の編集の演習。 第3回確認課題1のWordの文書作成の演習、確認課題1の提出を行う。		
		【予習内容】 Preparation	テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	第3回確認課題2でWordの文書入力の演習を行う。	120	分
	No4	Wordの操作演習3 ビジュアル文書の作成	画像等を活用したビジュアルな文書の作成、レイアウトの指定の演習。 第4回確認課題1のWordの文書作成の演習、確認課題1の提出を行う。		
		【予習内容】 Preparation	テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	第4回確認課題2でWordの文書入力の演習を行う。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	Word の操作演習 4 Wordの総合演習	Wordのビジネス文書を作成する応用演習課題。 第5回確認課題1のWordのビジネス文書作成の演習、確認課題 1 の提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第5回応用演習課題でWordのビジネス文書作成の演習を行う。	120	分
No6	インターネットの活用	インターネットの使い方と活用方法の演習。 第6回確認課題1のインターネットの確認課題 1 を作成し提出する。		
	【予習内容】 Preparation	資料のインターネットの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第6回確認課題2でインターネットの演習を行う。	120	分
No7	Powerpoint の操作演習 1 スライドの作成	スライド作成、文字や画像の活用の演習。 第7回確認課題1のPowerPointの基本操作演習、確認課題 1 の提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストのPowerPointの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第7回確認課題2のPowerPointの基本操作演習を行う。	120	分
No8	Powerpoint の操作演習2 ビジュアル資料作成	図形、Smartartを活用したビジュアル資料作成、 PowerPointの総合演習課題の演習。 第8回確認課題1のPowerPoint総合演習を行い、提出を行う。 理解度小テストを行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストのPowerPointの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第8回応用演習課題を作成する。	120	分
No9	Excel の操作演習 1 Excelの基本操作	基本的なワークシート編集、関数の基本の演習。 第9回確認課題1のExcelの基本演習、確認課題 1 の提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第9回確認課題2のExcelの基本操作演習を行う。	120	分
No10	Excel の操作演習 2 表の編集、グラフ作成	表と罫線の編集、グラフの作成の演習。 第10回確認課題1のExcelの確認課題 1 の演習、提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第10回確認課題2のExcelの基本操作演習を行う。	120	分

No11	Excel の操作演習 3 関数の種類、文字列操作関数	関数（IF、RANK等）、文字列操作関数の演習。 第11回確認課題1の関数等の設定演習、確認課題 1 の提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第11回確認課題2のExcelの操作演習を行う。	120	分
No12	Excel の操作演習 4 データベース機能	データの抽出、並べ替えの演習。 第12回確認課題1のExcelの操作演習行い、提出を行う。 理解度小テストを行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第12回確認課題2のExcelの操作演習を行う。	120	分
No13	Excel の操作演習 5 応用的な関数、フィルター機能 授業の振り返り	関数（VLOOKUP、COUNTIF等）、フィルタ機能の演習を行う。 第13回確認課題1のExcelの応用操作演習と確認課題 1 の提出を行う。 今までの授業についての総括および実技テストにかかわる総合演習課題を実施する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第13回応用演習課題のExcelの応用操作演習行う。	120	分
No14	総括・達成度の確認 応用演習	今までの授業についての総括および応用演習課題を作成し提出する。 第14回応用演習課題1の作成と提出を行う。 定期試験の準備を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第14回応用演習課題2の作成を行う。	120	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	コンピュータ概論 BE-K
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Introduction to Computer
担当教員 Instructor	江崎 和夫
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、日本の大手タイマーメーカーで情報学に関連する業務にあたった経験を活かし、企業でのICT活用を取り上げ、仕事にコンピュータを活用できるスキル(技能)を身につける。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>本科目は、パソコンをビジネス実務に活用するのに必要なコンピュータのハードウェア、ソフトウェア、通信・ネットワーク、システムなどに関する基本知識を身につけます。また、情報の活用方法、および、情報活用の際に重要な情報セキュリティなどに関する理解も深めます。学習に当たっては、「ITパスポート試験」の出題内容を配慮して進め、ITパスポート試験の学習の入門の役割も果たします。ITパスポート試験は、ITを利用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験です。</p>																					
【到達目標】 Course Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンのハードウェアのCPU、メモリ、補助記憶装置などに関して説明できる。IoTについて説明できる。 ・オペレーティングシステム(基本ソフト)と、アプリケーションソフトの表計算ソフトなどに関して説明できる。 ・データ通信の仕組みとネットワークに関して説明できる。LANなどのビジネスへの活用について説明できる。 																					
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	コンピュータの初心者を対象としているので、履修条件はとくにない。																					
【教育方法】 Teaching Method	Word,Excel,Powerpointの各ソフトウェアのパソコン操作テキストの例題でパソコン演習を通じて学習する。確認課題を作成し授業終了時に提出する。応用レベルの課題のポイントの説明を行い、次週締め切りで、パソコンの演習を行う。必要に応じて、必要な知識を問う理解度テストも実施する。																					
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	坂下有里&ラーニング編集部著 「かんたん合格 ITパスポート教科書&必須問題 令和6年版」 インプレス社発行																					
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td></td> <td>創造力 creativity</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	○	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity								
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	○															
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity																		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	理解度小テスト	30%	理解度小テスト、確認課題、レポート課題、理解度確認テスト、総合課題で総合的に評価を行う。		
	確認課題、レポート課題	40%			
	定期試験：理解度確認テストと総合課題	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	遅刻は2回で欠席1回とする。全授業の3分の1（5回）欠席した場合は、単位が認められない。 毎週、授業にパソコンとテキストを持参すること。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス。 コンピュータのハードウェアの構成と機能	授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 ITパスポート資格の紹介。 コンピュータやサーバーの種類と構成を理解する。 コンピュータのハードウェアの構成と機能を理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
		【予習内容】 Preparation	初回なのでない。	0	分
		【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、確認課題に解答する。	150	分
	No2	コンピュータの構成要素、ハードウェア	コンピュータのハードウェアのCPU、メモリ、補助記憶装置の種類、機能、特徴を理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
		【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、確認課題に解答する。	120	分
	No3	ハードウェアの入力装置と出力装置 ソフトウェアの種類と機能	ハードウェアの入力装置と出力装置の種類と特徴について理解する。 ソフトウェアの種類、機能、特徴について理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
		【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、確認課題に解答する。	120	分
	No4	データ通信の仕組み ネットワークの種類	データ通信の仕組みと基本用語について理解する。 ネットワークの種類とLAN、WANの特徴について理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
		【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、確認課題に解答する。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	オペレーティングシステムとWindows	オペレーティングシステム (OS) について理解する。 Windowsの機能と特徴について理解する。 ファイル、フォルダーの管理について理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、確認課題に解答する。	120	分
No6	アプリケーションソフトの種類と機能	アプリケーションソフトの種類について理解する。 アプリケーションソフトの機能、表計算ソフトの機能について理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、レポート課題を作成する。	120	分
No7	クラウドコンピューティングの仕組みと活用	クラウドコンピューティングの仕組みと活用方法について理解する。 5Gの活用分野について理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、レポート課題を作成する。	120	分
No8	インターネットの仕組み IoTの仕組みと活用分野	インターネットの仕組みについて理解する。 IoT(モノのインターネット)の仕組みについて理解する。 IoTの活用分野について理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、レポート課題を作成する。	120	分
No9	IoT、ビッグデータ、AI(人工知能)の	IoT(モノのインターネット)によるデータ収集、ビッグデータの蓄積、AI(人工知能)の活用分野について理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分
No10	eビジネスとeコマース	eビジネスの種類と活用分野について理解する。 eコマース(電子商取引)について理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、確認課題に解答する。	120	分

No11	サイバーセキュリティ 個人情報の取り扱い	サイバーセキュリティとコンピュータウイルスなどについて理解する。 情報モラルの基本として守るべき行動規範を理解する。 個人情報の取り扱いの注意点などについて理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、確認課題に解答する。	120	分
No12	システムの構成要素 システム開発	システムの構成要素について理解する。 システム開発のステップと方法について理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、レポート課題を作成する。	120	分
No13	ビジネスへのICTの活用 DX（デジタルトランスフォーメーション）	ビジネスプランとビジネスモデルの改革について理解する。 DX（デジタルトランスフォーメーション）について理解する。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	授業資料とテキストの復習を行い、確認課題に解答する。	120	分
No14	データベースの機能と操作 授業の振り返り	データベースの機能とデータベースの作成、操作方法について理解する。 授業の振り返りを行う。 理解度小テストに解答して授業終了時まで提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。理解度確認テストのための準備の学習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	レポート課題に解答する。	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	マーケティング I BE-A
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Marketing I
担当教員 Instructor	上條 典夫
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前期)
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	広告会社電通において、クライアントの新商品のローンチ、ブランドの構築などのマーケティング戦略を企画立案、その実践を40年。その実績と経験を次代を背負う学生に分かりやすく伝えながら、世界にも負けない人材に育て上げる。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	マーケティングとは、人間や社会のニーズを見極めてそれらに応えることであり、その本質は「顧客を知ること(リサーチ)」と「顧客に知らせること(コミュニケーション)」とすることができます。本講義では、20世紀から21世紀へのマーケティングの変遷をたどりながら、各時代におけるマーケティングのフレームワークを学び、次に、マーケティング効果を高めるコミュニケーション戦略について解説します。広告会社電通で40年間培った経験で事例を紹介、楽しい授業にします。																
【到達目標】 Course Objectives	<p>マーケティングの本質・その目的と戦略等に関する理解する。 マーケティングのエッセンスと全体像を把握するとともに、時代や社会とのかかわりについて、事例等を踏まえ理解すること。</p> <p>マーケティング戦略における各種フレームワークの理解※Pモデル、STPモデル、3Iモデル、SIPSモデル、5I理論等について、その目的、特徴、考え方を理解すること。</p> <p>マーケティングコミュニケーションの展開事例を学ぶ②マーケティングマインドを醸成するためには、消費者視点から問題意識を持つことが必要。それを事例などから学び理解すること ソーシャル・マーケティングの内容とその重要性を理解するとともに、SDGs視点のマーケティングに関する最新事例と概要を把握するSDGsの概念とソーシャ・マーケティングの本質を理解し、社会課題解決と利益確保の方法論を探究すること。</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	特にありません。																
【教育方法】 Teaching Method	社会に出て役立つ実践的な学び																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	特になし																
【実務I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td>○</td> <td>創造力 creativity</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity			○
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity			○										

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	授業態度	30%	学校の基本方針にのっとり評価
	レポート・試験	70%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】 Others	講義の内容や順番は変更する場合があります
----------------------	----------------------

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	イントロダクション	マーケティングとは？その変遷とマーケティング・コミュニケーションについてと私自身の経験紹介		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No2	マーケティングの変遷①	マーケティング1.0(1900～1960 製品・価格中心、4Pモデルなど)		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No3	マーケティングの変遷②	マーケティング2.0(1970～1980 顧客志向、STPモデルなど)		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No4	マーケティングの変遷③	マーケティング3.0(1990～2000 社会的責任、ブランドの3iモデルなど)		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	マーケティングの変遷④	マーケティング4.0(2010～ SIPSモデル、AISASモデル など)		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No6	マーケティング・コミュニケーション①	マーケティング・コミュニケーションとはなにか？		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No7	マーケティング・コミュニケーション②	消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する①		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No8	マーケティング・コミュニケーション③	消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する②		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No9	マーケティング・コミュニケーション④	広告展開におけるマーケティング事例①		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No10	マーケティング・コミュニケーション⑤	広告展開におけるマーケティング事例②		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分

No11	マーケティング・コミュニケーション⑥	コミュニケーションミックスと広報・PR		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No12	マーケティング・コミュニケーション⑦	スポーツイベント・音楽イベントにおけるマーケティング		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No13	マーケティング・コミュニケーション⑧	競争優位のブランド・マネジメント		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No14	ポストコロナ時代のマーケティング	ソーシャル・マーケティングとは～SDGsを軸にしたマーケティングの潮流		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
記当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	マーケティング論 I BE-A
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Marketing Theory I
担当教員 Instructor	上條 典夫
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	広告会社電通において、クライアントの新商品のローンチ、ブランドの構築などのマーケティング戦略を企画立案、その実践を40年。その実績と経験を次代を背負う学生に分かりやすく伝えながら、世界にも負けない人材に育て上げる。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	マーケティングとは、人間や社会のニーズを見極めてそれらに応えることであり、その本質は「顧客を知ること(リサーチ)」と「顧客に知らせること(コミュニケーション)」ということができます。本講義では、20世紀から21世紀へのマーケティングの変遷をたどりながら、各時代におけるマーケティングのフレームワークを学び、次に、マーケティング効果を高めるコミュニケーション戦略について解説します。広告会社電通で40年間培った経験で実例を紹介し、楽しい授業にします。																
【到達目標】 Course Objectives	<p>マーケティングの本質・その目的と戦略等に関する理解する。 マーケティングのエッセンスと全体像を把握するとともに、時代や社会とのかかわりについて、事例等を踏まえ理解すること。</p> <p>マーケティング戦略における各種フレームワークの理解 4Pモデル、STPモデル、3iモデル、SIPSモデル、5i理論等について、その目的、特徴、考え方を理解すること。</p> <p>マーケティングコミュニケーションの展開事例を学ぶ マーケティングマインドを醸成するためには、消費者視点から問題意識を持つことが必要。それを事例などから学び理解すること</p> <p>ソーシャル・マーケティングの内容とその重要性を理解するとともに、SDGs視点のマーケティングに関する最新事例と概要を把握する SDGsの概念とソーシャル・マーケティングの本質を理解し、社会課題解決と利益確保の方法論を探究すること。</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	特にありません。																
【教育方法】 Teaching Method	社会に出て役立つ実践的な学び																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	特になし																
【実務I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td>○</td> <td>創造力 creativity</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity			○
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity			○										

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	授業態度	30%	学校の基本方針にのっとり評価
	レポート・試験	70%	
合計		100%	

【その他の注意事項】 Others	講義の内容や順番は変更する場合があります
----------------------	----------------------

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	イントロダクション	マーケティングとは？その変遷とマーケティング・コミュニケーションについてと自身の経験紹介		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No2	マーケティングの変遷①	マーケティング1.0(1900～1960 製品・価格中心、4Pモデルなど)		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No3	マーケティングの変遷②	マーケティング2.0(1970～1980 顧客志向、STPモデルなど)		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No4	マーケティングの変遷③	マーケティング3.0(1990～2000 社会的責任、ブランドの3iモデルなど)		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	マーケティングの変遷④	マーケティング4.0(2010～ SIPSモデル、AISASモデル など)		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No6	マーケティング・コミュニケーション①	マーケティング・コミュニケーションとはなにか？		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No7	マーケティング・コミュニケーション②	消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する①		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No8	マーケティング・コミュニケーション③	消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する②		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No9	マーケティング・コミュニケーション④	広告展開におけるマーケティング事例①		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No10	マーケティング・コミュニケーション⑤	広告展開におけるマーケティング事例②		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分

No11	マーケティング・コミュニケーション⑥	コミュニケーションミックスと広報・PR		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No12	マーケティング・コミュニケーション⑦	スポーツイベント・音楽イベントにおけるマーケティング		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No13	マーケティング・コミュニケーション⑧	競争優位のブランド・マネジメント		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分
No14	ポストコロナ時代のマーケティング	ソーシャル・マーケティングとは～SDGsを軸にしたマーケティングの潮流		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモチェック	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、 経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、 経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、 経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	マーケティングⅡ BE-K
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Marketing II
担当教員 Instructor	上條 典夫
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	社会に出てからの実践に役立つべく、電通にて行った数多くのマーケティングの成功、失敗事例をより具体的に伝え、自らイノベーションを起こせる能力を養っていく。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>マーケティングⅠでは、マーケティングの定義や機能などについて学習しました。マーケティングⅡでは、それらの知識をベースに、業界や企業が実際に直面している課題や問題を取り上げ、それらを解決するためのマーケティング施策や戦略の立案の仕方を学びます。具体的には、例として、デジタル化が遅れてガラパゴス化しているともいわれる日本の音楽業界をフォーカスし、ドラスチックな構造変化と行き詰まりの原因、SNS基点とした問題点など、その現状と可能性を探ってみます。</p>																					
【到達目標】 Course Objectives	<p>マーケティングⅠで習得した知識や仕組みを実際の事例等に当てはめ、実践的なビジネスの策定方法を学ぶ。社会で役立つマーケティングを把握すること</p> <p>日本の音楽業界にスポットを当て、昭和から平成、令和への流れや変化を概観するとともに、現状を調査し、問題点や課題を整理しエンターメント業界のマーケティングの今を学び、理解する</p> <p>抽出された問題点や課題を解決するための戦略、具体的施策を立案する能力</p>																					
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	特になし																					
【教育方法】 Teaching Method	自律性、社会性、地域国際性、コミュニケーション力、情報リテラシー、問題解決力等のスキルを修得する。ケース・スタディやプレゼンテーション等における積極性、傾聴力、コミュニケーション・スキル、問題解決力等を評価する																					
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	特になし																					
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td>○</td> <td>主張力 assertiveness</td> <td>○</td> <td>創造力 creativity</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○							
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance																
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																	

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	授業へのコミットメントと態度	30%	学校の方針に準拠
	レポート・試験	70%	
合計		100%	

【その他の注意事項】 Others	講義内容、順番は変更することもあります。
----------------------	----------------------

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents				
No1	イントロダクション	ポストコロナ時代をリードするマーケティングとは何か				
			【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
			【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No2	ガラパゴス化した音楽業界のマーケティング①	世界のデジタル化潮流に乗り遅れた日本の音楽ビジネスを例にとって考察する				
			【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
			【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No3	音楽ビジネスマーケティング②	音楽ビジネスの構造変化を探る				
			【予習内容】 Preparation	講義の事前チェック	120	分
			【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No4	音楽ビジネスマーケティング③	ソーシャルメディアの勃興と音楽流通の変化				
			【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
			【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	音楽ビジネスマーケティング④	共有・共感・共鳴のメカニズムを探る		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No6	音楽ビジネスマーケティング⑤	レガシーメディアとしての音楽市場をどう振り返るか		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No7	デジタルとアナログは共存するか	マーケティングでデジタルとアナログは共存するか、その未来を探る		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No8	前半の学びの基本復習と整理	学んだトピックスを整理し、後半への問題意識を共有する		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	前半のメモのチェック	120	分
No9	ヒット商品のメカニズム①	ヒット商品を事例とともにマーケティング的に分析する		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No10	ヒット商品のメカニズム②	ヒット商品を事例とともにマーケティング的に分析する		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分

No11	今年のお話題お告、商品	一年の中でのお告のトレンド・トピックスを考る		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No12	ディスカッション①	マーケティング戦略事例をもとに情報共有		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No13	ディスカッション②	マーケティング戦略事例をもとに情報共有		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	全体の復習	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
記当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	マーケティング論Ⅱ BE-K
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Marketing Theory II
担当教員 Instructor	上條 典夫
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	社会に出てからの実践に役立つべく、電通にて行った数多くのマーケティングの成功、失敗事例をより具体的に伝え、自らイノベーションを起こせる能力を養っていく。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>マーケティングⅠでは、マーケティングの定義や機能などについて学習しました。マーケティングⅡでは、それらの知識をベースに、業界や企業が実際に直面している課題や問題を取り上げ、それらを解決するためのマーケティング施策や戦略の立案の仕方を学びます。具体的には、例として、デジタル化が遅れてガラパゴス化しているともいわれる日本の音楽業界をフォーカスし、ドラスチックな構造変化と行き詰まりの原因、SNS基点とした問題点など、その現状と可能性を探ってみます。</p>							
【到達目標】 Course Objectives	<p>マーケティングⅠで習得した知識や仕組みを実際の事例等に当てはめ、実践的なビジネスの策定方法を学ぶ社会で役立つマーケティングを把握すること</p> <p>日本の音楽業界にスポットを当て、昭和から平成、令和への流れや変化を概観するとともに、現状を調査し、問題点や課題を整理しエンターテインメント業界のマーケティングの今を学び、理解する</p> <p>抽出された問題点や課題を解決するための戦略、具体的施策を立案する能力</p>							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	特になし							
【教育方法】 Teaching Method	自律性、社会性、地域国際性、コミュニケーション力、情報リテラシー、問題解決力等のスキルを修得するケース・スタディやプレゼンテーション等における積極性、傾聴力、コミュニケーション・スキル、問題解決等を評価する							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	特になし							
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	授業へのコミットメントと態度	30%	学校の方針に準拠
	レポート・試験	70%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】 Others	講義内容、順番は変更することもあります。
----------------------	----------------------

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	イントロダクション	ポストコロナ時代をリードするマーケティングとは何か		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No2	ガラパゴス化した音楽業界のマーケティング①	世界のデジタル化潮流に乗り遅れた日本の音楽ビジネスを例にとって考察する		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No3	音楽ビジネスマーケティング②	音楽ビジネスの構造変化を探る		
	【予習内容】 Preparation	講義の事前チェック	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No4	音楽ビジネスマーケティング③	ソーシャルメディアの勃興と音楽流通の変化		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	音楽ビジネスマーケティング④	共有・共感・共鳴のメカニズムを探る		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No6	音楽ビジネスマーケティング⑤	レガシーメディアとしての音楽市場をどう振り返るか		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No7	デジタルとアナログは共存するか	マーケティングでデジタルとアナログは共存するか、その未来を探る		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No8	前半の学びの基本復讐と整理	学んだトピックスを整理し、後半への問題意識を共有する		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	前半のメモのチェック	120	分
No9	ヒット商品のメカニズム①	ヒット商品を事例とともにマーケティング的に分析する		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No10	ヒット商品のメカニズム②	ヒット商品を事例とともにマーケティング的に分析する		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分

No11	今年の話題広告、商品	一年の中での広告のトレンド・トピックスを考える		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No12	ディスカッション①	マーケティング戦略事例をもとに情報共有		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No13	ディスカッション②	マーケティング戦略事例をもとに情報共有		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義メモのチェック	120	分
No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	全体の復習	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	マーケティング I BE-E
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Marketing I
担当教員 Instructor	山川 悟
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は広告会社のマーケティング部門で24年間、広告計画・販促計画などの業務に携わってきました。その経験を生かし、理論偏重にならない、わかりやすく実践的な教育を展開します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	マーケティングとは、企業と顧客との関係を良好なものとし、商品やサービスが売れ続けていくための基盤をつくる活動です。戦略策定やコンセプト開発、商品企画、販売促進、広告、広報、消費者調査、顧客行動分析など、幅広い範囲がここに含まれます。本講義では、マーケティング理論や最新の事例を知るだけでなく、自ら企画立案する体験などを通じ、思考力と創造力の両側面を鍛える場にしていきたいと思ひます。																
【到達目標】 Course Objectives	①商品・店舗・広告・消費行動を、企業側の視点から見られるようになる ②マーケティングの実務内容に触れたうえで、自身の進路について語れるようになる ③フレームワークに基づき、簡単な商品・プロモーション企画を立案できるようになる																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	特になし。商品企画・販売促進・広告宣伝・広報・イベント等の仕事に携わりたい人。																
【教育方法】 Teaching Method	・講義中の個人・グループワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 ・講義回によっては、遠隔(ライブ・反転)授業を採り入れる可能性もあります。																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	教科書は使用せず、講義(パワーポイント)資料を各自ダウンロードして受講します。従って、PCまたはタブレット端末を持参するか、講義資料をプリントアウトして持参するかのいずれかで受講してください。講義資料が手元にない方は受講できない場合がありますので、必ず指示に従ってください。																
【実務I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td></td> <td>創造力 creativity</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	企業視点から商品・店舗・広告・消費行動を語るができる	30%	およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価
	自らの進路と関連させてマーケティングの仕事の説明ができる	30%	
	創造フレームワークに基づき、独自性のある企画立案ができる	40%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】
Others

毎回授業終了後に、「受講ミニレポート」を提出していただきます。
ここに書かれた内容も成績に反映されますので、そのつもりで記述してください。

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	マーケティングの考え方	まず具体的な商品を想定し、「商品企画」「販売前」「販売後」の3段階において必要なマーケティング施策を考えてみる。次に、マーケティングという言葉が生まれた20世紀前半の米国における考え方や、消費者主導となった近年における考え方がどう異なるかを理解する。さらに今日の経営環境に必要な視点、マーケッターに要請される基礎能力についても学ぶ。		
	【予習内容】 Preparation	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No2	今日のマーケティング課題①	今日の企業は厳しい競争環境に晒されている。本講義では、差別化との差別化、潜在ニーズ発掘、顧客理解、チャネル開発など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No3	今日のマーケティング課題②	前回に引き続き、決済方法の改革、話題になる売り方、顧客経験価値、社会全体の利益、ブランド価値向上、デジタル対応など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No4	マーケティングの仕事研究	マーケティングは特殊な仕事ではなく、どの業種・企業においても不可欠な機能である。ここでは営業・販売との目線の違いや、6種のマーケッター(商品開発、販売促進、広告宣伝、ブランディング、営業企画、広報PR)の実務内容について具体的な事例から学ぶ。マーケティングに関連する資格や資質についても言及する。最後に、現在のビジネス課題から、マーケッターとしてどんな対応をすべきか考案し、議論を行う。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	商品コンセプト事例研究	商品の魅力や特長を端的な言葉で表し、それを伝えていく「コンセプト」の重要性を学ぶ。20の商品事例から、個々のコンセプトがどのような観点から規定されているのかを 考える。ここでは、5つのコンセプト策定法があることを理解する。また、採り上げた事例の中でヒットしそうだと思う商品とその理由について考察する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No6	コンセプトワーク実習	今日は意味を消費する社会であり、あらゆるフィールドでコンセプトが明快な商品だけが 生き残っている点を理解する。また、コンセプトの伝え方についての事例研究を行う。講義の最後に、創造性開発フレームワークに基づき、消費者ニーズと企業シーズの結節点から、飲料の新商品の企画立案を試みる。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No7	消費者心理の事例研究	商品がヒットした背景には微妙な消費者心理、インサイトが込められている。本講義では、利便性や価格といった表面的な理由からでは説明できないヒット要因を、13の事例から考え、議論していく。また、ありがちな消費者心理をヒントに、新たな商品・サービスの考案を試みる。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No8	前半総括と講義に関するQ&A	前半授業についての総括、および学修達成度確認のためのレポート提出を行う。レポート課題は「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとする。また優良レポートは他の受講者にフィードバックし、それをもとに見直しと復習を行う。		
	【予習内容】 Preparation	1~7回までの講義資料を見直す	240	分
	【復習内容】 Review	課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う	120	分
No9	リサーチとインサイト発見法	目的・状況に応じた適切なマーケティング調査の手法を理解し、アンケートが万能でないことを認識する。また、ライオンやサントリーなどの事例から、消費者心理の深層「インサイト」を発見し、それを商品企画などに反映させていく8つの手法についても学んでいく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No10	販売促進の手法と事例研究	マーケティング4Pの中で、購買への直接的な動機付けとなるセールスプロモーションの位置づけと、サンプリング、景品、値引き、消費者教育、コンテスト、制度型プロモーションからWeb活用販促に至るまでの消費者向け販促の9つの手法を、具体的な事例とともに学ぶ。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

No11	今日の販売促進	今日の販売促進は、他の手法と結びつくことで複合的な効果を生み出している。ここではブランディングやCSR、PR等とも密接に関わる今日的な販促手法を学ぶ。また、フレームワークに基いた販促企画プランの立案を試みる。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No12	広告の歴史と機能	近代的なマスメディアが存在しなかった江戸期の広告手法と、それらの今日的な共通点を考えることで広告の本質について理解する。また、「大量消費を促す」「メディアの経営を健全化する」「新たな欲求を作り出す」など、現代の広告の10の機能を理解する。さらには意外に知られていない広告と広報の違いについても考える。最後に、広告会社が提案した広告企画案を批判的に分析するディスカッションを行う。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No13	広告媒体とクリエイティブ	広告効果とメディアミックス、媒体(新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、交通・屋外、インターネット)の種類と特性について学ぶ。また、新たな媒体開発の考え方、広告表現のパターン、広告制作の実際など、広告ビジネスの実態についても触れる。最後に、二つのターゲットを想定したメディアミックス案を自ら考えるワークに取り組む。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No14	流通業のマーケティング	立地戦略、商品陳列、店頭販促、品揃え、価格戦略、商品開発(プライベートブランド)、物流戦略、ネット活用、業態開発など、流通業特有のマーケティング手法について、具体的な事例から学んでいく。身近な流通業だが、その背景にある課題や考え方を学ぶことで、店舗や商品への見方が変わってくる。最近行った店で、本講義で示した工夫が施されていた事例について議論する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	マーケティング論 I BE-E
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Marketing Theory I
担当教員 Instructor	山川 悟
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前期)
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は広告会社のマーケティング部門で24年間、広告計画・販促計画などの業務に携わってきました。 その経験を生かし、理論偏重にならない、わかりやすく実践的な教育を展開します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>マーケティングとは、企業と顧客との関係を良好なものとし、商品やサービスが売れ続けていくための基盤をつくる活動です。戦略策定やコンセプト開発、商品企画、販売促進、広告、広報、消費者調査、顧客行動分析など、幅広い範囲がここに含まれます。本講義では、マーケティング理論や最新の事例を知るだけでなく、自ら企画立案する体験などを通じ、思考力と創造力の両側面を鍛える場にしていきたいと思います。</p>																
【到達目標】 Course Objectives	<p>①商品・店舗・広告・消費行動を、企業側の視点から見られるようになる</p> <p>②マーケティングの実務内容に触れたうえで、自身の進路について語れるようになる</p> <p>③フレームワークに基づき、簡単な商品・プロモーション企画を立案できるようになる</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	特になし。商品企画・販売促進・広告宣伝・広報・イベント等の仕事に携わりたい人。																
【教育方法】 Teaching Method	<ul style="list-style-type: none"> 講義中の個人・グループワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 講義回によっては、遠隔(ライブ・反転)授業を採り入れる可能性もあります。 																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	教科書は使用せず、講義(パワーポイント)資料を各自ダウンロードして受講します。 従って、PCまたはタブレット端末を持参するか、講義資料をプリントアウトして持参するかのいずれかで受講してください。 講義資料が手元にない方は受講できない場合がありますので、必ず指示に従ってください。																
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td></td> <td>創造力 creativity</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	企業視点から商品・店舗・広告・消費行動を語るができる	30%	およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価
	自らの進路と関連させてマーケティングの仕事を説明できる	30%	
	創造フレームワークに基づき、独自性のある企画立案ができる	40%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】 Others	<p>毎回授業終了後に、「受講ミニレポート」を提出していただきます。 ここに書かれた内容も成績に反映されますので、そのつもりで記述してください。</p>
----------------------	--

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	マーケティングの考え方	まず具体的な商品を想定し、「商品企画」「販売前」「販売後」の3段階において必要なマーケティング施策を考えてみる。次に、マーケティングという言葉が生まれた20世紀前半の米国における考え方と、消費者主導となった近年における考え方がどう異なるかを理解する。さらに今日の経営環境に必要な視点、マーケッターに要請される基礎能力についても学ぶ。		
	【予習内容】 Preparation	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No2	今日のマーケティング課題①	今日の企業は厳しい競争環境に晒されている。本講義では、差別化との差別化、潜在ニーズ発掘、顧客理解、チャネル開発など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No3	今日のマーケティング課題②	前回に引き続き、決済方法の改革、話題になる売り方、顧客経験価値、社会全体の利益、ブランド価値向上、デジタル対応など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No4	マーケティングの仕事研究	マーケティングは特殊な仕事ではなく、どの業種・企業においても不可欠な機能である。ここでは営業・販売との目線の違いや、6種のマーケッター(商品開発、販売促進、広告宣伝、ブランディング、営業企画、広報PR)の実務内容について具体的な事例から学ぶ。マーケティングに関連する資格や資質についても言及する。最後に、現在のビジネス課題から、マーケッターとしてどんな対応をすべきかを考案し、議論を行う。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	商品コンセプト事例研究	商品の魅力や特長を端的な言葉で表し、それを伝えていく「コンセプト」の重要性を学ぶ。20の商品事例から、個々のコンセプトがどのような観点から規定されているのかを 考える。ここでは、5つのコンセプト策定法があることを理解する。また、採り上げた事例の中でヒットしそうだと思う商品とその理由について考察する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No6	コンセプトワーク実習	今日は意味を消費する社会であり、あらゆるフィールドでコンセプトが明快な商品だけが 生き残っている点を理解する。また、コンセプトの伝え方についての事例研究を行う。講義の最後に、創造性開発フレームワークに基づき、消費者ニーズと企業シーズの結節点 から、飲料の新商品の企画立案を試みる。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No7	消費者心理の事例研究	商品がヒットした背景には微妙な消費者心理、インサイトが込められている。本講義では、利便性や価格といった表面的な理由からでは説明できないヒット要因を、 13の事例から考え、議論していく。また、ありがちな消費者心理をヒントに、新たな商品・サービスの考案を試みる。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No8	前半総括と講義に関するQ&A	前半授業についての総括、および学修達成度確認のためのレポート提出を行う。レポート課題は「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとする。また優良レポートは 他の受講者にフィードバックし、それをもとに見直しと復習を行う。		
	【予習内容】 Preparation	1~7回までの講義資料を見直す	240	分
	【復習内容】 Review	課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う	120	分
No9	リサーチとインサイト発見法	目的・状況に応じた適切なマーケティング調査の手法を理解し、アンケートが万能でない ことを認識する。また、ライオンやサントリーなどの事例から、消費者心理の深層「インサイト」を発見し、それを商品企画などに反映させていく8つの手法についても 学んでいく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No10	販売促進の手法と事例研究	マーケティング4Pの中で、購買への直接的な動機付けとなるセールスプロモーションの 位置づけと、サンプリング、景品、値引き、消費者教育、コンテスト、制度型プロモーションからWeb活用販促に至るまでの消費者向け販促の9つの手法を、具体的な事例と ともに学ぶ。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

No11	今日の販売促進	今日の販売促進は、他の手法と結びつくことで複合的な効果を生み出している。ここではブランディングやCSR、PR等とも密接に関わる今日的な販促手法を学ぶ。また、フレームワークに基いた販促企画プランの立案を試みる。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No12	広告の歴史と機能	近代的なマスメディアが存在しなかった江戸期の広告手法と、それらの今日的な共通点を考えることで広告の本質について理解する。また、「大量消費を促す」「メディアの経営を健全化する」「新たな欲求を作り出す」など、現代の広告の10の機能を理解する。さらには意外に知られていない広告と広報の違いについても考える。最後に、広告会社が提案した広告企画案を批判的に分析するディスカッションを行う。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No13	広告媒体とクリエイティブ	広告効果とメディアミックス、媒体(新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、交通・屋外、インターネット)の種類と特性について学ぶ。また、新たな媒体開発の考え方、広告表現のパターン、広告制作の実際など、広告ビジネスの実態についても触れる。最後に、二つのターゲットを想定したメディアミックス案を自ら考えるワークに取り組む。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No14	流通業のマーケティング	立地戦略、商品陳列、店頭販促、品揃え、価格戦略、商品開発(プライベートブランド)、物流戦略、ネット活用、業態開発など、流通業特有のマーケティング手法について、具体的な事例から学んでいく。身近な流通業だが、その背景にある課題や考え方をすることで、店舗や商品への見方が変わってくる。最近行った店で、本講義で示した工夫が施されていた事例について議論する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	マーケティングⅡ BE-O
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Marketing II
担当教員 Instructor	山川 悟
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は広告会社のマーケティング部門で、生産財・サービス産業・コンテンツ産業等の企画業務に携わってきました。その経験を生かし、実務に即応可能なマーケティング教育を展開します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	「マーケティングⅠ」の延長として、業種別・商品別・手法別マーケティングを掘り下げる応用編の講義を行います。消費財、生産財、サービス財のみならず、スポーツや観光、コンテンツなど、かつてはマーケティングの対象でなかったジャンルや、「顧客参加」「キャラクター」「経験価値」「ソーシャル」「パッケージ」といった最新のトレンドも含め、具体的なケースから学んでいきます。																
【到達目標】 Course Objectives	①今日において有力なマーケティングの考え方について、その理由を説明できるようになる ②自らの興味分野や希望進路先のマーケティング戦略について語るようになる ③既存商品の拡販に向けて、自分なりのアイデアを提案できるようになる																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	特になし。商品企画・販売促進・広告宣伝・広報・イベント等の仕事に携わりたい人。																
【教育方法】 Teaching Method	・講義中の個人ワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 ・講義回によっては、遠隔(ライブ・反転)授業を採用入れる可能性もあります。																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	教科書は使用せず、講義(パワーポイント)資料を各自ダウンロードして受講します。従って、PCまたはタブレット端末を持参するか、講義資料をプリントアウトして持参するかのいずれかで受講してください。講義資料が手元がない方は受講できない場合がありますので、必ず指示に従ってください。																
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td></td> <td>創造力 creativity</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	今日の有力なマーケティングの考え方の理由を説明できる	30%	およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価
	興味分野や希望進路の戦略について語るができる	30%	
	既存商品の拡販に向けて、自分なりのアイデアを提案できる	40%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】 Others	<p>毎回授業終了後に、「受講ミニレポート」を提出していただきます。 ここに書かれた内容も成績に反映されますので、そのつもりで記述してください。</p>
----------------------	--

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	近年のマーケティングトレンド	ひとことでマーケティングといっても、実のところ、企業や業界、商品ジャンルによって、その考え方や方法論は多様である。いまや、大学で「どんなマーケティングを学んだか」が問われる時代でもある。 第1回では、秋学期講義のアウトラインの説明を通じ、マーケティングの多様性や深みを理解し、自らの進路と大学での学びとの関りを考えるきっかけとする。		
	【予習内容】 Preparation	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No2	サービス財のマーケティング	日本はモノづくりの国と目されているが、実は急速にサービス経済が浸透しており、学生の進路の7割はサービス業と考えてもよい。 本講義ではサービス財を「無形性」「変動性」「複合性」「継続性」の4つの特性から捉え、それぞれに対応した10のマーケティング戦略について、具体的な事例から学んでいく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No3	生産財のマーケティング	膨大なプロ市場領域、即ち法人向け(BtoB)のマーケティングを学ぶことは、営業活動や業務の仕組みへの理解を高め、知名度の低い優良企業を知るきっかけにもなる。 本講義では、生産財マーケティングの特性である「顧客の顧客を知る」「複数の購買決定者」「営業支援策」など、消費財と異なる考え方を学ぶ。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No4	顧客参加型マーケティング	顧客を企業プロセスに組み入れることは、ユーザーの知見を採り入れた商品づくりが可能になるとともに、SNSでの拡散や、ファンを中長期的に育成できる有力な戦略と目されている。 本講義では商品開発、製造、流通、商品利用の4プロセスにおける顧客参加の方法について理解し、その効果と留意点について考察していく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	スポーツマーケティング	スポーツは他の産業から見ても魅力的な付加価値をもたらすコンテンツである。本講義では、スポーツ用品販売、プロチーム経営、スタジアム運営、スポーツツーリズム、スポンサーシップ等の事例について解説していく。 また、不正や汚職による問題山積の五輪ビジネスの構造、スポーツマーケティングの今後のあるべき姿についても考察する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No6	キャラクターマーケティング	キャラクターは単なるアイキャッチャーではなく、いまやブランドを人格化し、その背景にある思想や価値などを伝える重要なコミュニケーションツールである。 本講義では特に、独自のブランドキャラクターを開発・活用する企業(NTTドコモ、リクルートなど)の事例について考察する。 また「中の人」「Vチューバー」「擬人化」など、新たなキャラクターコミュニケーションの方法についても学んでいく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No7	音楽活用のマーケティング	音楽活用マーケティングの歴史は古く、市場が生まれた中世から存在する。今日の販売促進への音楽(ミュージック/サウンド)活用法として、「店頭演出」「POP(購買時点広告)」「景品」、ブランディングへの活用法として「サウンドロゴ」「CMソング」「MPV」「発着メロディ」「商品音」「社歌」等について、最新の具体例から学んでいく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No8	前半総括と講義に関するQ&A	前半授業についての総括、および学修達成度確認のための試験(レポート提出)を行う。 レポート課題は、単に知識を問うものではなく、「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとする。 また優良レポートは他の受講者にフィードバックし、それをもとに見直しと復習を行う。		
	【予習内容】 Preparation	1~7回までの講義資料を見直す	240	分
	【復習内容】 Review	課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う	120	分
No9	経験価値マーケティング	そのブランドならではの、身体的・精神的・美的な感動のもたらし方について考察する。 スターバックスやシンガポール航空などの事例を通じ、「ユーザーエクスペリエンス(UX)」「モノからコトへ」などの重要な概念を理解する。 また、商品利用シーンに「笑い」「遊戯」「創造」「物語」を導入し、ワクワクする消費体験を提供する方法を検討する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No10	ソーシャルマーケティング	SDGsが経営理念の基盤となり、企業の社会的責任(CSR)や社会の利益増大を意識したマーケティング活動が必要になってきた。 本講義では「非営利組織のマーケティング」「社会啓蒙キャンペーン」「CSR(企業の社会的責任)」「CSV(共通価値の創造)」「デ・マーケティング」という5つの観点から、ソーシャルマーケティングのあり方を考えていく。 また「きれいごと」に対する批判など、配慮すべき点についても理解する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

No11	観光マーケティング	観光立国化が叫ばれて久しい。ここでは観光目的地(デスティネーション)をひとつの商品とみなし、その特性を「イメージ消費財」「サービス財」「経験財」「高関与×高価格商品」と捉えた戦略について言及する。 また「国際マーケティング」「旅支度市場」といった視点からも、観光マーケティングの方法を考えていく。 最後に「沖縄旅行け」を題材に、リピーターが観光地に求める価値についても議論する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No12	パッケージデザインとマーケティング	パッケージは販促やブランディングにつながるだけでなく、商品が顧客の手元に移った後に企業からメッセージを伝達する重要なメディアでもある。 ここではパッケージの8機能(識別、意味伝達、陳列、中身・用途説明、運搬、利用支援、品質保持、保管等の支援)について、その具体例から理解するとともに、ネスレ、花王、キリンなど、最新の事例を検討していく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No13	コンテンツ産業のマーケティング	日本発のコンテンツが注目を浴びている。経済の活力源は「文化」にある時代となった。 本講義では映画、ドラマ、小説、アニメ、漫画、音楽、ゲーム等をどうヒットさせるか、その方法について検討する。 クリエイターの才能や業界人の経験値ではなく、コンテンツ財の商品特性(「無形性」「可変性」「芸術性」「権利性」)からのアプローチ、さらにはコンテンツの消費特性(「偶有性」「嗜好性」「模倣・共感性」)を踏まえた戦略の重要性を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No14	コンテンツ活用のマーケティング	コンテンツを活用してどう商品売るかについて検討していく。 いわゆる「コラボ」にとどまらず、タイアップキャンペーン、プロダクトプレースメント、オウンドエンタテインメントなど、広告や広報への応用策を中心に、ここでは幅広い方法論を理解する。 また、新たなタイプのコンテンツ活用広告についても学んでいく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	マーケティング論Ⅱ BE-O
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Marketing Theory II
担当教員 Instructor	山川 悟
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は広告会社のマーケティング部門で、生産財・サービス産業・コンテンツ産業等の企画業務に携わってきました。その経験を生かし、実務に即応可能なマーケティング教育を展開します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>「マーケティングⅠ」の延長として、業種別・商品別・手法別マーケティングを掘り下げる応用編の講義を行います。消費財、生産財、サービス財のみならず、スポーツや観光、コンテンツなど、かつてはマーケティングの対象でなかったジャンルや、「顧客参加」「キャラクター」「経験価値」「ソーシャル」「パッケージ」といった最新のトレンドも含め、具体的なケースから学んでいきます。</p>							
【到達目標】 Course Objectives	<p>① 今日において有力なマーケティングの考え方について、その理由を説明できるようになる</p> <p>② 自らの興味分野や希望進路先のマーケティング戦略について語れるようになる</p> <p>③ 既存商品の拡販に向けて、自分なりのアイデアを提案できるようになる</p>							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	<p>特になし。商品企画・販売促進・広告宣伝・広報・イベント等の仕事に携わりたい人。</p>							
【教育方法】 Teaching Method	<p>・ 講義中の個人ワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。</p> <p>・ 講義回によっては、遠隔(ライブ・反転)授業を採り入れる可能性もあります。</p>							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks · Reference Books	<p>教科書は使用せず、講義(パワーポイント)資料を各自ダウンロードして受講します。従って、PCまたはタブレット端末を持参するか、講義資料をプリントアウトして持参するかのいずれかで受講してください。講義資料が手元にない方は受講できない場合がありますので、必ず指示に従ってください。</p>							
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	今日の有力なマーケティングの考え方の理由を説明できる	30%	およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価
	興味分野や希望進路の戦略について語ることができる	30%	
	既存商品の拡販に向けて、自分なりのアイデアを提案できる	40%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】 Others	<p>毎回授業終了後に、「受講ミニレポート」を提出していただきます。 ここに書かれた内容も成績に反映されますので、そのつもりで記述してください。</p>
----------------------	--

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	近年のマーケティングトレンド	ひとことでマーケティングといっても、実のところ、企業や業界、商品ジャンルによって、その考え方や方法論は多様である。いまや、大学で「どんなマーケティングを学んだか」が問われる時代でもある。 第1回では、秋学期講義のアウトラインの説明を通じ、マーケティングの多様性や深みを理解し、自らの進路と大学での学びとの関りを考えるきっかけとする。		
	【予習内容】 Preparation	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No2	サービス財のマーケティング	日本はモノづくりの国と目されているが、実は急速にサービス経済が浸透しており、学生の進路の7割はサービス業と考えてもよい。 本講義ではサービス財を「無形性」「変動性」「複合性」「継続性」の4つの特性から捉え、それぞれに対応した10のマーケティング戦略について、具体的な事例から学んでいく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No3	生産財のマーケティング	膨大なプロ市場領域、即ち法人向け(BtoB)のマーケティングを学ぶことは、営業活動や業務の仕組みへの理解を高め、知名度の低い優良企業を知るきっかけにもなる。 本講義では、生産財マーケティングの特性である「顧客の顧客を知る」「複数の購買決定者」「営業支援策」など、消費財と異なる考え方を学ぶ。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No4	顧客参加型マーケティング	顧客を企業プロセスに組み入れることは、ユーザーの知見を採り入れた商品づくりが可能になるとともに、SNSでの拡散や、ファンを中長期的に育成できる有力な戦略と目されている。 本講義では商品開発、製造、流通、商品利用の4プロセスにおける顧客参加の方法について理解し、その効果と留意点について考察していく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	スポーツマーケティング	スポーツは他の産業から見ても魅力的な付加価値をもたらすコンテンツである。本講義では、スポーツ用品販売、プロチーム経営、スタジアム運営、スポーツツーリズム、スポンサーシップ等の事例について解説していく。また、不正や汚職による問題山積の五輪ビジネスの構造、スポーツマーケティングの今後のあるべき姿についても考察する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No6	キャラクターマーケティング	キャラクターは単なるアイキャッチャーではなく、いまやブランドを人格化し、その背景にある思想や価値などを伝える重要なコミュニケーションツールである。本講義では特に、独自のブランドキャラクターを開発・活用する企業(NTTドコモ、リクルートなど)の事例について考察する。また「中の人」「Vチューバー」「擬人化」など、新たなキャラクターコミュニケーションの方法についても学んでいく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No7	音楽活用のマーケティング	音楽活用マーケティングの歴史は古く、市場が生まれた中世から存在する。今日の販売促進への音楽(ミュージック/サウンド)活用法として、「店頭演出」「POP(購買時点広告)」「景品」、ブランディングへの活用法として「サウンドロゴ」「CMソング」「MPV」「発着メロディ」「商品音」「社歌」等について、最新の具体例から学んでいく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No8	前半総括と講義に関するQ&A	前半授業についての総括、および学修達成度確認のための試験(レポート提出)を行う。レポート課題は、単に知識を問うものではなく、「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとする。また優良レポートは他の受講者にフィードバックし、それをもとに見直しと復習を行う。		
	【予習内容】 Preparation	1~7回までの講義資料を見直す	240	分
	【復習内容】 Review	課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う	120	分
No9	経験価値マーケティング	そのブランドならではの、身体的・精神的・美的な感動のもたらし方について考察する。スターバックスやシンガポール航空などの事例を通じ、「ユーザーエクスペリエンス(UX)」「モノからコトへ」などの重要な概念を理解する。また、商品利用シーンに「笑い」「遊戯」「創造」「物語」を導入し、ワクワクする消費体験を提供する方法を検討する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No10	ソーシャルマーケティング	SDGsが経営理念の基盤となり、企業の社会的責任(CSR)や社会の利益増大を意識したマーケティング活動が必要になってきた。本講義では「非営利組織のマーケティング」「社会啓蒙キャンペーン」「CSR(企業の社会的責任)」「CSV(共通価値の創造)」「デ・マーケティング」という5つの観点から、ソーシャルマーケティングのあり方を考えていく。また「きれいごと」に対する批判など、配慮すべき点についても理解する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

No11	観光マーケティング	観光立国化が叫ばれて久しい。ここでは観光目的地(デスティネーション)をひとつの商品とみなし、その特性を「イメージ消費財」「サービス財」「経験財」「高関与×高価格商品」と捉えた戦略について言及する。 また「国際マーケティング」「旅支度市場」といった視点からも、観光マーケティングの方法を考えていく。 最後に「沖縄旅行け」を題材に、リピーターが観光地に求める価値についても議論する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No12	パッケージデザインとマーケティング	パッケージは販促やブランディングにつながるだけでなく、商品が顧客の手元に移った後に企業からメッセージを伝達する重要なメディアでもある。 ここではパッケージの8機能(識別、意味伝達、陳列、中身・用途説明、運搬、利用支援、品質保持、保管等の支援)について、その具体例から理解するとともに、ネスレ、花王、キリンなど、最新の事例を検討していく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No13	コンテンツ産業のマーケティング	日本発のコンテンツが注目を浴びている。経済の活力源は「文化」にある時代となった。 本講義では映画、ドラマ、小説、アニメ、漫画、音楽、ゲーム等をどうヒットさせるか、その方法について検討する。 クリエイターの才能や業界人の経験値ではなく、コンテンツ財の商品特性(「無形性」「可変性」「芸術性」「権利性」)からのアプローチ、さらにはコンテンツの消費特性(「偶有性」「嗜好性」「模倣・共感性」)を踏まえた戦略の重要性を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No14	コンテンツ活用のマーケティング	コンテンツを活用してどう商品売るかについて検討していく。 いわゆる「コラボ」にとどまらず、タイアップキャンペーン、プロダクトプレースメント、オウンドエンタテインメントなど、広告や広報への応用策を中心に、ここでは幅広い方法論を理解する。 また、新たなタイプのコンテンツ活用広告についても学んでいく。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、 経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、 経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、 経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、 経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	中国語 I BE-D
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Chinese I
担当教員 Instructor	賽音吉雅
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	1
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	実際に、中国語を業務に使った経験から主に講義を行う。さらに、国際的な視野を広げてほしいと思い、「聞く」授業ではなく、「参加する」授業にしています。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>日常会話の練習をします。初心者が対象ですから基礎知識は要りません。あまり文法的なことには深入りしないで、授業中はどんだん声を出して体で覚えてもらいます。</p> <p>中国語の学習を通して、中国文化や中国人の生活習慣に親しみ、国際的な視野を広げてほしいと思います。「聞く」授業ではなく、「参加する」授業です。</p>																
【到達目標】 Course Objectives	<p>中国語の基本構造と発音の概要を理解する。自分の名前の中国語発音を調べ、発表し、互いに呼び合えるようにする。</p> <p>学生生活のさまざまな場面での会話を想定して対話練習をする。</p> <p>1分間程度の自己紹介スピーチを披露する。</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	中国語に興味と関心があり、積極的に授業に参加できる学生。																
【教育方法】 Teaching Method	教科書に沿って解説を行い、発音の反復練習をする。一人ひとりの発音を指導・矯正し、発表する。各課に関連深いトピックスを【コラム】で紹介する。																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	賽音吉雅(著)『賽音吉雅先生の中国語我喜欢』OSU出版、2024年																
【実務I Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td><input type="radio"/></td> <td>思考力 ability to think</td> <td><input type="radio"/></td> <td>突破力 The power to break</td> <td><input type="radio"/></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td><input type="radio"/></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td><input type="radio"/></td> <td>創造力 creativity</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control	<input type="radio"/>	思考力 ability to think	<input type="radio"/>	突破力 The power to break	<input type="radio"/>	忍耐力 endurance	<input type="radio"/>	協働力 ability to cooperate	<input type="radio"/>	主張力 assertiveness	<input type="radio"/>	創造力 creativity	<input type="radio"/>		
自制力 self-control	<input type="radio"/>	思考力 ability to think	<input type="radio"/>	突破力 The power to break	<input type="radio"/>	忍耐力 endurance	<input type="radio"/>										
協働力 ability to cooperate	<input type="radio"/>	主張力 assertiveness	<input type="radio"/>	創造力 creativity	<input type="radio"/>												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	自分の名前の中国語発音を調べ、発表する。	20%	平常点評価70%、自己紹介スピーチ試験評価30%である。欠席・遅刻は減点する。
	授業中に指名し、聴解の正確性と積極的な参加意欲を評価。	50%	
	自己紹介スピーチ試験の完成度、パフォーマンスを評価。	30%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】 Others	座席は指定制です。
----------------------	-----------

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	中国語の概観	共通語、文字、文の組み立てを解説する。日本語や他の言語との違いを理解し、中国語を学ぶことの意義を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	中国語発音の暗唱。	120	分
No2	発音について（1）	音節、母音、子音、声調、ピンインについて解説する。中国語の発音システムの基本を理解し、これからの語学学習の土台作りをする。		
	【予習内容】 Preparation	教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	中国語発音の暗唱。	120	分
No3	発音について（2）	百までの数、あいさつ言葉、身体の名称、漢詩、名前、といった実際の単語、言葉の発音練習をする。中国語と日本語が語彙の面では多くの同意性があることを実感する。外国人（日本人を含む）の名前の中国語発音の仕組みを理解する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	中国語発音の暗唱。	120	分
No4	知人と出会った時のあいさつの仕方	通常のあいさつ、目上の人の場合のあいさつを学習し、敬称について学ぶ。人称代名詞を整理する。「はじめまして」、「しばらくです」の言い方を紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文ををチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	名前の聞き方、言い方	相手の年代による名前の聞き方の違い、苗字、下の名前、フルネームの聞き方、及び答え方を学ぶ。他の常用あいさつ言葉を練習する。中国と日本の苗字について紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No6	自分の名前の中国語発音を発表	辞書等で、自分の名前の中国語発音、漢字の意味・用例を調べ、レポートを提出する。一人ひとり板書の上、発表し、クラス全体で発音を共有する。		
	【予習内容】 Preparation	自分の名前の中国語発音を調べる。	120	分
	【復習内容】 Review	自分の名前（苗字、フルネーム）の言い方の暗唱。	120	分
No7	家族の人数、家族構成	自分の家族の人数や家族構成を表現する。親族呼称・名称を発音練習する。“有”の文、数量の尋ね方、人や物を数える単位を学習する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No8	学生生活	科目名、学校名、専門、学年の言い方を学び、学生生活を表現する。“的”の用法、“是”の文を学習する。中国の大学事情を紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No9	誕生日、年齢	月、日、曜日、西暦の言い方を学び、誕生日を表現する。世代別の年齢の聞き方、答え方を学習し対話練習をする。中国の少子高齢化について紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No10	場所の尋ね方、答え方 ～に住んでいる	場所、国籍、住所の言い方を学び、自分の現住所（仮設定）を発表する。指示代名詞、場所や方向を示す言葉、r化を学習する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分

No11	～が出来る、出来ない	スポーツ、語学等が出来るという表現を学習し、一人ひとり発表する。“会”、“可以”、“能”の例文から、日本語と中国語の「～出来る」の表現方法の違いを理解する。 「肯定 + 否定」の疑問文を学習する。 「ガンバレ！」の中国語表現を紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No12	自己紹介（前半）	自己紹介のモデルパターンを学習する。～生まれの～育ち、学んでいる学校名の言い方を練習する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No13	自己紹介（後半）	自己紹介のモデルパターンを学習する。趣味の言い方、自己紹介の決まり文句、締め言葉の練習する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No14	自己紹介の実践 (試験準備対策)	各人が作成した自己紹介文を添削し、表現・発音等の個人指導を行う。		
	【予習内容】 Preparation	自己紹介文の作成。	120	分
	【復習内容】 Review	自己紹介文の暗唱。	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	1年
講義名 Name of Subject	中国語Ⅱ BE-N
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Chinese II
担当教員 Instructor	賽音吉雅
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	1
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	実際に、中国語を業務に使った経験から主に講義を行う。さらに、国際的な視野を広げてほしいと思い、「聞く」授業ではなく、「参加する」授業にしています。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	「中国語Ⅰ」に引き続き、日常会話の練習をします。さまざまな場面を想定して、基本的な単語や簡単な文で会話を楽しみましょう。「中国語Ⅰ」と同様に、聴講型ではなく参加型の授業です。異文化への興味と関心を深め、国際センスを磨いてほしいと思います。																
【到達目標】 Course Objectives	簡単な自己紹介を、とっさにも流暢に出来るよう練習する。 日本のアニメソングの中国語版を題材に、日中の歌詞を比較・分析する。 日常生活のさまざまな場面を想定して、対話練習を行う。																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	原則として「中国語Ⅰ」を修得し、積極的に授業に参加できる学生。																
【教育方法】 Teaching Method	教科書の【会話実例】、【語句】、【ポイント】を解説し、発音練習を反復する。【練習】で応用力を鍛える。【コラム】で周辺知識を紹介し、中国への理解を深める。																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	賽音吉雅(著)『賽音吉雅先生の中国語我喜欢』OSU出版、2024年																
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td>○</td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td>○</td> <td>忍耐力 endurance</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td>○</td> <td>主張力 assertiveness</td> <td>○</td> <td>創造力 creativity</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	○	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		
自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	○										
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	簡単な自己紹介の出来栄え、日中歌詞比較の鑑賞力を評価。	20%	左記のように、平常点評価70%、試験評価30%である。欠席・遅刻は減点する。
	聴解の正確性、対話練習での積極性等、参加意欲を評価。	50%	
	一人10問の口頭試問を行い、回答の妥当性を評価。	30%	
合計		100%	

【その他の注意事項】 Others	<p>座席は指定制とします。</p>
----------------------	--------------------

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	「中国語Ⅰ」の復習 簡単な自己紹介	「中国語Ⅰ」の総復習を行い、これまでの学習知識を整理する。 簡単な自己紹介を一人ひとり行い、互いのパフォーマンスを評価する。		
	【予習内容】 Preparation	知識の曖昧な箇所の抽出。簡単な自己紹介の練習。	120	分
	【復習内容】 Review	簡単な自己紹介の暗唱。	120	分
No2	日中歌詞比較	日本のアニメソングの中国語版を学習し、日本語歌詞からの訳詞を鑑賞する。 言葉に対する日本人と中国人の感覚の違いを味わう。 メロディーに乗せるときに、ピンインの声調が変化せざるを得ないことを実体験する。 中国のアニメ事情、日本のアニメの人気度を紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	中国語歌詞の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
	【復習内容】 Review	中国語歌詞の暗唱。	120	分
No3	再会	久しぶりに再会した場面での会話。 “了”の用法、動作の方向を示したい時の語法を学習する。 中国の婚姻事情を紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No4	～が好き	好きかどうかを尋ね、スポーツ等のお誘いをする場面での会話。 “得”の用法、“不太好”と“太不好”の違いを学習する。 中華料理を紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	どうですか？	相手の同意を求めたり、意向を尋ねる。映画と一緒に見に行く約束をする場面での会話。 "上"、"下"の特殊な用法を学習する。 中国のお茶について紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No6	時刻・時間	時刻、時間、期間の言い方を学習する。 中国のトイレ事情について紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱・時計を見るたび、中国語で時刻を言う練習を繰り返す。	120	分
No7	出身地、経験	～（出身地や住所）から来たという表現を練習する。 ～（場所や時点）から～まで、～したことがあるという経験の言い方を学習する。 北京、上海の概観、万里の長城について紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No8	電話をかける（1）	電話会話を学習し、電話番号の聞き方、言い方を習得する。 中国の通信事情を紹介する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No9	電話をかける（2）	自分の電話番号（仮設定）を発表し、他の学生の電話番号を聞き取る練習をする。		
	【予習内容】 Preparation	自分の電話番号の暗唱。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分
No10	決まり文句（1）	対話での決まり文句を練習し、二人一組で会話を楽しむ。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。	120	分

No11	決まり文句（2）	ひと言決まり文句を練習し、一人ひとり発表する。 中国語における外来語の成り立ち・分類を学習し、実例を発音練習する。		
	【予習内容】 Preparation	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
	【復習内容】 Review	【会話実例】の暗唱。外来語の実例の暗唱。	120	分
No12	口頭試問対策練習 （1）	30題の問題について総復習をしながら解説し、回答例を紹介する。 1～18を予定する。		
	【予習内容】 Preparation	1～18の質問に自分の回答案を作成する。	120	分
	【復習内容】 Review	決定した自分の回答を暗唱する。	120	分
No13	口頭試問対策練習 （2）	30題の問題について総復習をしながら解説し、回答例を紹介する。 19～30を予定する。		
	【予習内容】 Preparation	19～30の質問に自分の回答案を作成する。	120	分
	【復習内容】 Review	決定した自分の回答を暗唱する。	120	分
No14	口頭試問対策練習（3）	実際の6種類の問題（1種類は10問で構成）に対し、各人が模擬試験をする。 また、お互いに問題を出し合い会話を楽しむ。		
	【予習内容】 Preparation	30題の問題の自分の回答の確認。	120	分
	【復習内容】 Review	30題の問題の自分の回答の暗唱。	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、 経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 経営学科(2021)、 経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、 経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	広告論 I BE-A
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Principle of Advertising I
担当教員 Instructor	荒井 誠
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	教員は、40年にわたり広告会社にてマーケティングからメディア・イベントまで幅広く広告ビジネスに携わっており、広告のブランディングから最新SNSを活用したプロモーションまで、実際の事例を紹介しながら授業を進める。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>ブランディングの基礎から、広告による意識変容のメカニズム、広告メディアの変遷/進化、SNS時代の新しい広告手法などを、皆さんにとって身近な話題やイベント、実際の広告やキャンペーン事例を通し学びます。</p> <p>皆さんは実際に広告を2回創作し、キャッチコピーやデザインなど広告創りの楽しさや難しさを体験します。</p> <p>広告に関心のない受講生にとっても、この科目で培われるコミュニケーション力は、将来、広告業界と関らなくとも、社会人になり必ず役に立ちます。</p> <p>長年広告ビジネスに携わっている広告マンならではの話も飛び出す授業です。</p> <p>秋学期の「広告論II」はこの科目の応用編となります。</p>																
【到達目標】 Course Objectives	<p>広告によって、人々の購買への意識がいかに変容するかを理解する。</p> <p>広告によるブランディングの基礎を理解する。</p> <p>広告創りを通し、自己表現やコミュニケーション力を培う。</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	<p>秋学期の「広告論II」はこの科目の応用編のため、春学期の「広告論I」から履修する。</p>																
【教育方法】 Teaching Method	<p>身近な話題や広告を紹介します。毎回提出してもらったレポートの質問やコメントを、翌週の授業で取り上げます。実際に2回創作してもらった皆さんの広告も、授業内で取り上げ受講生とシェアし、コメントを加えます。</p>																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	<p>日頃の広告が教科書です。授業で使用する特定の教材はありません。来館を推奨する施設は「アドミュージアム東京」@汐留です。江戸時代から現代の広告、さらに海外で注目されている広告も閲覧することができます。</p>																
【実務I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>思考力 ability to think</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>突破力 The power to break</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>創造力 creativity</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control	<input type="checkbox"/>	思考力 ability to think	<input type="checkbox"/>	突破力 The power to break	<input type="checkbox"/>	忍耐力 endurance	<input type="checkbox"/>	協働力 ability to cooperate	<input type="checkbox"/>	主張力 assertiveness	<input type="checkbox"/>	創造力 creativity	<input type="checkbox"/>		
自制力 self-control	<input type="checkbox"/>	思考力 ability to think	<input type="checkbox"/>	突破力 The power to break	<input type="checkbox"/>	忍耐力 endurance	<input type="checkbox"/>										
協働力 ability to cooperate	<input type="checkbox"/>	主張力 assertiveness	<input type="checkbox"/>	創造力 creativity	<input type="checkbox"/>												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	出席時の受講態度と毎回のレポートにより授業の理解度を評価	40%	各授業後のレポート、2回取り組む広告創作、期末に実施する試験かテストレポートにより総合評価		
	2回の広告創作の提出と、それに取り組んだ意欲/姿勢を評価	20%			
	広告論を通し、自身の生活に役立つことを如何に会得したかを、試験かテストレポートにより評価	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	コースパワーへの出席登録に加え、毎回授業後に提出するレポートより授業への取り組み姿勢を評価しますので、集中した授業への取組と十分な復習とレポート作成が必要です。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	広告論Ⅰのイントロダクション	「広告論Ⅰ」で取り上げるテーマについてポイントを理解する。広告論への取り組み姿勢として、受講生が提出する毎授業後のレポート、2回の「広告創作」、成績評価基準などを理解する。		
		【予習内容】 Preparation	自分の好きな広告、気に入らない広告が何か、そしてその理由を考えてください。	120	分
		【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
	No2	広告の定義とマーケティング戦略における広告の役割	「広告」の定義をもとに広告というものの基本を理解する。マーケティング戦略の中におけるプロモーション戦略の領域を理解するとともに、プロモーション戦略における「広告」の果たす役割について理解する。		
		【予習内容】 Preparation	マーケティングとは何か、その中で「広告」の役割は何か、考えてみてください。	120	分
		【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
	No3	広告表現における3つの力（言語/視覚/聴覚）	広告表現を構成する3つの要素（言語/視覚/聴覚）について、その働きと効力について理解する。言葉の力はキャッチフレーズやスローガンなどのコピーライティング、視覚の力は、広告のデザインや色使いなどによってその効力を発揮する。聴覚の力については、広告論Ⅱで取り上げる。		
		【予習内容】 Preparation	どのようなキャッチフレーズやデザインがインパクトあるか、考えてみてください。	120	分
		【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
	No4	広告によるターゲットの意識変容のメカニズム	広告によって視聴者や読者が、どのようなプロセスでその広告商品の購入を検討し購入の決定に至るか、その心理変容のメカニズムを理解する。「AIDMA（アイドマ）」「AISAS（アイサス）」といった心理変容の法則を理解する。		
		【予習内容】 Preparation	あなたが広告に影響を受けて商品を購入するまでの意識の変化を考えてみてください。	120	分
		【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	ターゲットインサイトの把握のための調査（定量と定性）	広告のターゲット層に響くための商品開発や広告創作のために必要な、ターゲットのインサイト（ニーズやウォンツ）の把握の重要性を理解する。その把握のための調査手法（定量と定性）について理解する。		
	【予習内容】 Preparation	人の心の奥にある感情や意識をどのように把握したらいいか、考えてみてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No6	広告到達指標（リーチとフリークエンシー）	広告がターゲット層にどのくらい到達しているか（リーチ）、広告が何回到達したか（フリークエンシー）という二つの広告到達指標について理解する。リーチとフリークエンシーの関係も併せ理解する。		
	【予習内容】 Preparation	ターゲットに対し、CMを何回見てもらいたいのか、考えてみてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No7	広告業務の基礎 広告主からのオリエンからプレゼンまでの流れ	広告主が広告会社へ広告制作やキャンペーン構築の依頼の際に提示する「オリエンテーション」と、それを受けて広告会社が「プレゼンテーション」に向けて、どのようなチーム構成と制作プロセスで取り組むかを理解する。		
	【予習内容】 Preparation	広告主と広告会社の広告制作における役割分担を考えてみてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No8	ブランディング基礎① ブランドの定義とブランド構築（＝ブランディング）とは	「ブランド」の定義から、ブランドの構築（ブランディング）の意味するところを理解する。ブランドには、認知度と品質は必要条件であるが、十分条件として「独自性 / オリジナリティ」の重要性を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	ブランドとは何か、またブランド構築に必要なものは何か、考えてみてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No9	ブランディング基礎② ブランドプロミス／ブランドアイデンティティ	企業と顧客の関係性において、企業が顧客に提供する「ブランドプロミス」と企業が顧客に伝えたい自社商品の価値「ブランドアイデンティティ」について理解する。実際のブランド事例を取り上げる。		
	【予習内容】 Preparation	ブランディングで成功している企業や商品を調べ、成功の秘訣を考えてみてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No10	ブランディング基礎③ ブランドコミュニケーションの7要素	ブランド構築の上で、広告など企業から顧客へのコミュニケーションにおいて重要な役割を果たす7つの要素について理解する。実際の要素事例を取り上げる。		
	【予習内容】 Preparation	ブランドを構築する際に、広告上で有効な要素は何か、考えてみてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分

No11	企業コミュニケーション 企業と生活者のコンタクトポイント	企業は商品やサービスを購入する「消費者」との関係構築を重要視するが、企業と「生活者」との接点は、「消費者」だけではなく投資家や従業員、近隣住人など様々な関係性（コンタクトポイント）において存在することを理解する。		
	【予習内容】 Preparation	企業と生活者との関係性においてどのような接点があるか、考えてみてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No12	広告メディア 変化する生活者のメディア環境	広告を企業から視聴者や読者に届ける上で、その媒介となる媒体（メディア）は不可欠である。生活者にとって、このメディアがどのように変化してきたか、今後進化するとしているか、を理解する。テレビ局と新聞社の歴史と将来への取組を取り上げる。		
	【予習内容】 Preparation	印刷や電波媒体（メディア）について、それぞれの特徴を考えてみてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No13	インターネット広告とSNSの活用	今や日頃の生活に欠かせなくなったインターネットであるが、広告コミュニケーションにおいても不可欠なメディアとなっている。特にSNSの普及により、生活者のメディア環境は大きく変化してきている。この動向について理解する。インターネット広告の進捗状況や種類別の特徴などを理解する。		
	【予習内容】 Preparation	SNSを活用した広告の成功事例を調べ、その理由を考えてみてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No14	広告表現の留意点 広告に関する法律と自主規制	広告表現に関しては、多くの関連法律で規制が定められている。さらに広告を取り扱う広告主、広告会社、媒体社などが推進している日本広告審査機構（JARO）の取組や業界として設けている自主規制について理解する。		
	【予習内容】 Preparation	広告を創作する上で留意すべき点について考えてみてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、 経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、 経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、 経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	広告論Ⅱ BE-K
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Principle of Advertising II
担当教員 Instructor	荒井 誠
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	教員は、40年にわたり広告会社にてマーケティングからメディア・イベントまで幅広く広告ビジネスに携わっており、広告のブランディングから最新SNSを活用したプロモーションまで、実際の事例を紹介しながら授業を進める。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	様々なブランディング戦略から、SNS時代のメディア戦略、さらに広告づくりに必要なネーミング/音楽/タレント/キャラクターなどを、実際の事例研究を通し学びます。 春学期の広告論Ⅰを基礎編としての応用編となります。 春学期と同様に、実際に2回広告創作することを通し、広告創りの楽しさや難しさを体験します。 この科目で培われるコミュニケーション力は、将来、皆さんが広告業界と関らなくとも、社会人になり必ず役に立ちます。 長年広告ビジネスに携わっている広告マンならではの話も飛び出す授業です。																
【到達目標】 Course Objectives	広告の訴求力を高める様々な工夫やクリエイティブ力を理解する 広告による企業の様々なブランディング戦略を理解する 広告づくりを通しコミュニケーション力を培う																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	春学期「広告論Ⅰ」を基礎とする応用編ですので、「広告論Ⅰ」からの受講を勧めます。																
【教育方法】 Teaching Method	身近な話題や広告を紹介します。毎回提出してもらったレポートの質問やコメントを、翌週の授業で取り上げます。実際に2回創作してもらった皆さんの広告も、授業内で取り上げ 受講生とシェアし、コメントを加えます。																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	日頃見かけるの広告が教科書です。授業で使用する特定の教材はありません。来館を推奨する施設は「アドミュージアム東京」@汐留です。江戸時代から現代の広告や、海外で注目されている広告も閲覧できます。																
【実務I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td>○</td> <td>創造力 creativity</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	出席時の受講態度と毎回のレポートにより授業の理解度を評価	40%	各授業後のレポート、2回取り組む広告創作、期末に実施する試験かテストレポートにより総合評価		
	2回の広告創作の提出と、それに取り組んだ意欲／姿勢を評価	20%			
	広告論を通し、自身の生活に役立つことを如何に会得したかを、試験あるいはテストレポートで評価	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	コースパワーへの出席登録に加え、毎回授業後に提出するレポートより授業への取り組み姿勢を評価しますので、集中した授業への取組と十分な復習とレポート作成が必要です。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	広告の基礎 広告論 I のレビュー	春学期の「広告論 I」のレビューを通し、広告の基礎を理解する。		
		【予習内容】 Preparation	広告論 I で学んだ内容をレビューしてください。	120	分
		【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
	No2	企業が活用するトリプル（3つの）メディア	インターネットが普及した環境において、企業は3つのメディアを活用している。従来の広告メディア、自社のホームページなどのオウンドメディア、そして生活者やステークホルダーからの好意度を獲得するアードメディアである。それぞれの特徴について理解する。		
		【予習内容】 Preparation	企業の展開するSNS施策で注目する事例を調べてください。	120	分
		【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
	No3	広告主に対する広告会社の役割と広告ビジネスの流れ	広告主と広告会社、広告制作会社、媒体社がどのようなビジネスの流れで業務を進めているか、契約内容はどのようにになっているかを理解する。		
		【予習内容】 Preparation	広告論 I で学んだ広告のオリエンとプレゼンの流れについてレビューしてください。	120	分
		【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
	No4	ブランディング戦略① 商品／事業のブランド展開（サブブランド／PB）	広告論 I で理解したブランディングの基本をベースに、5回にわたり「ブランディング戦略」を掘り下げていく。 まず、商品や事業のブランド展開の全体を理解するとともに、サブブランドやプライベートブランド / PBについて理解する。		
		【予習内容】 Preparation	コンビニなどで注目するプライベートブランドの事例を調べてください。	120	分
		【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	ブランディング戦略② ブランドの再生 企業の社会的責任 (CSR)	評価の落ちたブランドを再生する(リブランディング)するための戦略について、実際の再生事例とともに理解する。 企業自身のブランディングのひとつとしても重要である、企業の社会的責任 / CSR (Corporate Social Responsibility) について理解する。		
	【予習内容】 Preparation	企業のブランド再生について成功事例を調べてください。	120	分
No6	ブランディング戦略③ ブランド価値の測り方	企業価値を評価する際のブランド資産 / ブランドエクイティについて、その重要性と評価基準について理解する。		
	【予習内容】 Preparation	ブランドの価値をどのように測るか、考えてください。	120	分
No7	ブランディング戦略④ 企業の様々なブランディング戦略の研究	様々な企業がそれぞれの業種において、独自性を発揮するために特徴を活かしたブランディング戦略を展開している。多くの企業の実例を分析しながら、成功の秘訣を紐解き理解する。		
	【予習内容】 Preparation	企業のブランディング戦略で注目する事例を調べてください。	120	分
No8	ブランディング戦略⑤ スポーツを利用したブランディング	スポーツブランディングの2つの取組を理解する。 スポーツ用品やスポーツ競技、その施設などを広告していくものと、スポーツ競技のイベントのスポンサーシップやアスリート連を広告に起用するなどによって、企業の商品やサービスを広告していくもの。		
	【予習内容】 Preparation	スポーツを活用したブランディングで注目する事例を調べてください。	120	分
No9	広告における商品やサービスの「ネーミング」の力	商品やサービスの特徴をターゲットにアトラクティブに訴求するために、その商品やサービスの名称を創る(ネーミング)ことが重要であることを理解する。 ネーミングによって注目を浴び売り上げを伸ばしたケースや、名称を変更したことによってブランド再生に繋げた商品や企業の実例を参考にする。		
	【予習内容】 Preparation	商品のネーミングで好きなもの嫌いなものをあげ、その理由を考えてください。	120	分
No10	広告で起用する「タレント/キャラクター」の力	多くの広告でタレントやキャラクターを起用している。タレントやキャラクターを、広告のシチュエーションにおいてどのような役割として使っているかなど、それらの活かし方について理解する。 さらに、タレントやキャラクターを起用する際の、メリットやデメリットについても理解する。		
	【予習内容】 Preparation	タレント/キャラクターを広告でどのように活用するか、考えてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分

No11	今年の①ヒット商品②流行語大賞③漢字の予想と分析	年末の恒例となってきた、今年のヒット商品や流行語大賞、今年の漢字を取り上げ、その流行りの背景にあるライフスタイルの変化や新たな価値観の兆しなど、時流を探る。 広告コミュニケーションを制作する上で、日頃より世の中の関心事やトレンドウォッチする重要性を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	今年の流行語大賞、今年の漢字を予想してみてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No12	広告に欠かせない「サウンド／音楽」の力	広告論Iで扱った、広告表現における3つの力（言語／視覚／聴覚）の「聴覚」に着目し「サウンド／音楽」の力を取り上げる。ほとんどの動画やラジオ広告において、何らかの音響効果やBGM、コマーシャルソングなどを採用している。その多岐に渡る「サウンド／音楽」をカテゴリー別に整理し、その効果を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	コマーシャルソングで好きなもの嫌いなものをあげ、その理由を教えてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No13	企業や自治体にとっての広報／PR戦略の研究	広告と同様に企業や自治体にとって重要な「広報／PR」について、広告との違いとともに、広報／PR戦略の役割を理解する。 広報とPRの共通する部分と異なる側面についても理解する。		
	【予習内容】 Preparation	広告と広報の違いを考えてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No14	様々な広告・プロモーション展開の事例分析	企業は常に世の中の動きを敏感に察知し、生活者に対し訴求力のある広告やプロモーションをタイムリーに展開している。その様々な事例を分析することで、広告だけでなく日頃のコミュニケーションでも活用できるヒントを発見する。		
	【予習内容】 Preparation	成功する広告・プロモーション施策の理由を考えてください。	120	分
	【復習内容】 Review	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	情報処理 I BE-A
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Information Processing I
担当教員 Instructor	江崎 和夫
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、日本の大手タイマーメーカーで情報学に関連する業務にあたった経験を活かし、企業でのICT活用を取り上げ、仕事にコンピュータを活用できるスキル(技能)を身につける。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	本科目は、マイクロソフトの検定試験であるオフィススペシャリスト(MOS)の、表計算ソフトのMicrosoft Excelの対策入門講座も兼ねて、Excelの演習を行う科目です。MOSのExcelは、企業の評価も高い世界共通の検定試験です。Excelが企業の実務で活用できるレベルのスキル(技能)に達していることを示します。仕事にExcelのビジネスデータの加工などができるスキル(技能)を身につけるとともに、検定試験の準備をすることを目指します。そのために、Excelを使った表計算処理やグラフの作成・テーブルやフィルターの操作などについて、MOSの実践的な演習を通じて学習します。MOSの模擬問題を多く解くことによって実務能力の向上を図ります。																
【到達目標】 Course Objectives	Excelのシートの編集、関数を適切に活用した表計算、グラフの作成などができる。 セル範囲へのデータ挿入、書式設定、条件付き書式の設定などができる。 テーブルの作成と操作、フィルターによるデータ抽出などの操作ができる。データベース機能の並替え機能などが使える。																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	コンピュータの初心者を対象としているので、履修条件はとくにない。																
【教育方法】 Teaching Method	Word, Excel, Powerpointの各ソフトウェアのパソコン操作テキストの例題でパソコン演習を通じて学習する。確認課題を作成し授業終了時に提出する。応用レベルの課題のポイントの説明を行い、次週締め切りで、パソコンの演習を行う。必要に応じて、必要な知識を問う理解度テストも実施する。																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	土岐順子著 「MOS攻略問題集 Excel 365 & 2019」 日経BP社発行																
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働能力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td></td> <td>創造力 creativity</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	○	協働能力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity			
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	○										
協働能力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity													

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	確認課題	50%	確認課題、応用演習課題、実技テストを兼ねた総合課題演習で総合的に評価を行う。		
	応用演習課題	30%			
	定期試験：実技テストを兼ねた総合演習課題	20%			
合計	100%				
【その他の注意事項】 Others	遅刻は2回で欠席1回とする。全授業の3分の1（5回）欠席した場合は、単位が認められない。 毎週、授業にパソコンとテキストを持参すること。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス。 Excelの基本操作の確認	授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 MOS（Excel）検定試験の方式・内容の説明。 Windowsの操作、ファイルの操作、Excelの基本操作。 第1回確認課題1のExcelのMOSの基本理解とExcelの基本操作の演習と提出を行う。		
		【予習内容】 Preparation	初回なのでない。	0	分
		【復習内容】 Review	第1回確認課題2でExcelの基本操作の演習を行う。	150	分
	No2	データのインポート、関数の種類など	テキストファイルからのデータのインポートの演習を行う。 さまざまな数式、関数の基本操作。MOSの関数の演習課題の作成。 テーブルの操作の演習を行う。 第2回確認課題1のExcelの基本操作の演習と提出を行う。		
		【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	第2回確認課題2でテキストファイルのインポートとテーブル操作の演習を行う。	120	分
	No3	ワークシートとブックの管理、テーブルの作成など	ワークシートとブックに関する演習課題の作成。 テーブルの作成、フィルターの作成、データの抽出、並べ替えの演習と提出を行う。 テーブルの作成、フィルターの作成と操作の第3回課題1の演習と提出を行う。		
		【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	第3回課題2のテーブルの作成とフィルターの作成などの演習を行う。	120	分
	No4	ワークシートの操作、セルとデータ管理など	ワークシートの操作、セルやセル範囲へのデータ挿入、書式設定の演習課題の作成。 第4回確認課題1のワークシートの操作、書式設定などの演習と提出を行う。		
		【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	第4回確認課題2でワークシートの操作、書式設定などの演習を行う。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	セルの条件付き書式の設定など	セルの条件付き書式の設定の演習を行う。条件を満たすセルの色の変更、アイコンの表示などの演習を行う。 第5回課題1の条件付き書式の設定の演習を行い提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第5回確認課題2で条件付き書式の設定演習を行う。	120	分
No6	データ集計を行う関数、テーブル設定、オートフィルなど	データ集計を行う関数、テーブル設定・抽出の課題の作成、オートフィル、リンク設定などの演習を行う。 第6回確認課題1の関数の設定などの演習課題の作成と提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第6回確認課題2で関数の設定、テーブル設定などの演習を行う。	120	分
No7	条件付関数、文字列関数、小計など	条件付きの計算の関数、文字列の変更の関数の作成演習、小計機能の演習を行い、提出する。 第7回確認課題1の関数の設定、集計処理の演習を行い、提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第7回確認課題2の関数の設定などの演習を行う。	120	分
No8	論理関数、文字列操作関数など	論理関数（IF関数）と文字列操作関数（LEFT関数など）の演習を行う。 第8回確認課題1の演習と提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第8回課題2の演習と提出を行う。	120	分
No9	グラフの作成、編集など	グラフの作成、編集の演習課題。 第9回課題1のグラフ作成、グラフの演習を行い提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第9回確認課題2のグラフの作成、編集の演習を行う。	120	分
No10	グラフの作成と応用など	グラフの作成と応用の演習課題を作成する。 第10回確認課題1のグラフ作成の演習と提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第10回応用演習課題の作成演習を行う。	120	分

No11	名前の設定、テーマの設定	名前の設定、テーマの設定などの演習を行う。応用演習課題の演習を行う。 第11回確認課題1の名前の設定、テーマの設定などの演習と提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第11回応用演習課題を行う。	120	分
No12	グラフの書式設定など	グラフの応用の作成、書式設定の演習課題を作成する。 第12回応用演習課題1のグラフ作成演習と編集の演習と提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第12回応用演習課題2のグラフの書式設定・編集の演習を行う。	120	分
No13	条件付き関数など、授業の振り返り、応用演習課題	条件付き関数（SUMIF関数など）の設定の演習を行う。 第13回応用演習課題1の作成と提出を行う。 今までの授業についての総括を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第13回応用演習課題2を作成する。	120	分
No14	総括・達成度の確認 応用演習課題	今までの授業についての応用演習を行う。 第14回応用演習課題1として、グラフ作成、編集の応用演習課題の作成と提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第14回応用演習課題2の課題を作成する。	120	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	情報処理 II BE-K
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Information Processing II
担当教員 Instructor	江崎 和夫
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、日本の大手タイマーメーカーで情報学に関連する業務にあたった経験を活かし、企業でのICT活用を取り上げ、仕事にコンピュータを活用できるスキル(技能)を身につける。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>本科目は、マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOSExcel)の対策入門講座にもなります。前期の「情報処理 I」の内容を深め、模擬問題を多く解き、企業の実務に使えるExcelの実践力を身につけます。MOSのExcelは、企業の評価も高い世界共通の検定試験です。Excelが企業の実務で活用できるレベルのスキルに達することを目指します。ビジネスデータの加工などができるコンピュータリテラシーのスキルを身につけるとともに、検定試験の準備をすることを旨とします。MOS(Excel)の模擬問題を多く解くことによって、検定試験対策を行うとともに、ばそこんでExcelを活用できる実務能力の向上を図ります。</p>																
【到達目標】 Course Objectives	<p>Excelのシートの編集、関数を適切に活用した表計算、グラフの作成などができる。応用レベルで活用できる。</p> <p>セル範囲へのデータ挿入、セルの書式設定、条件付き書式の設定ができる。応用レベルで活用できる。</p> <p>テーブルの作成、フィルターが使用できる。データベース機能の並べ替え機能が使える。応用レベルで活用できる。</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	<p>コンピュータの初心者を対象としているので、履修条件はとくにない。「情報処理 I」科目を履修していることがより望ましい。</p>																
【教育方法】 Teaching Method	<p>Word,Excel.Powerpointの各ソフトウェアのパソコン操作テキストの例題でパソコン演習を通じて学習する。確認課題を作成し授業終了時に提出する。応用レベルの課題のポイントの説明を行い、次週締め切りで、パソコンの演習を行う。必要に応じて、必要な知識を問う理解度テストも実施する。</p>																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	<p>土岐順子著 「MOS攻略問題集 Excel 365&2019」 日経BP社発行</p>																
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td></td> <td>創造力 creativity</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	○	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity			
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	○										
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity													

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	確認課題	50%	確認課題、応用演習課題、実技テストを兼ねた総合課題演習で総合的に評価を行う。		
	応用演習課題	30%			
	定期試験：実技テストを兼ねた総合演習課題	20%			
合計	100%				
【その他の注意事項】 Others	遅刻は2回で欠席1回とする。全授業の3分の1（5回）欠席した場合は、単位が認められない。 毎週、授業にパソコンとテキストを持参すること。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス。 Excelの基本操作の復習など	授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 MOS（Excel）検定試験の方式・内容の説明。 Windowsの操作、ファイルの操作、Excelの基本操作。 第1回課題1のExcelの基本操作、表の作成・編集の演習を行い、提出する。		
		【予習内容】 Preparation	初回なのでない。	0	分
		【復習内容】 Review	第1回課題2で表の作成・編集などの演習を行う。	150	分
	No2	様々な数式、関数、グラフの作成など	さまざまな数式、関数の基本操作。MOSの関数の演習課題の作成。 第2回課題1の関数の基本操作、グラフの作成などの演習を行い提出する。		
		【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	第2回課題2で関数の基本操作、グラフの作成などの確認演習を行う。	120	分
	No3	テーブルの設定、フィルター操作、条件付き書式の操作など	テーブルの設定、フィルター操作、条件付き書式の操作などの演習を行う。 第3回課題1のテーブルの設定、フィルターの設定などの操作などの演習を行い提出する。		
		【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	第3回課題2で条件付き書式などの演習を行う。	120	分
	No4	セルの条件付き書式とデータ管理など	セルの条件付き書式の種類毎の設定の演習課題を作成する。 第4回課題1の条件付き書式などの演習を行い提出する。		
		【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
		【復習内容】 Review	第4回課題2で条件付きの書式設定などの演習を行う。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	関数、条件付き関数などの操作など	関数（SUM関数、AVERAGE関数など）、条件付き関数（SUMIF関数など）の演習課題を作成する。 第5回課題1の関数、条件付き関数などの演習を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第5回課題2で関数、条件付き関数などの設定演習を行う。	120	分
No6	グラフの作成、グラフの編集、条件付き関数など	グラフの作成、グラフの編集、条件付き関数などの演習課題を作成する。 第6回課題1の関数の設定などの演習課題を作成し提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第6回課題2でグラフの作成、編集などの演習を行う。	120	分
No7	グラフの作成、編集、スパークラインの作成など	グラフの作成、編集、スパークラインの作成などの演習課題の作成演習を行う。 第7回課題1のグラフの作成、編集、スパークラインの設定演習を行い提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	130	分
	【復習内容】 Review	第7回課題2のグラフの作成、編集、スパークラインなどの設定演習を行う。	120	分
No8	データの取得と変換、オートライン機能、	データの取得と変換、オートライン機能、名前の登録機能の演習課題の演習を行う。 第8回課題1のデータの取得とオートライン機能などの演習と提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第8回課題2のデータの取得と変換、オートライン機能、名前の登録などの課題を作成する。	120	分
No9	フィルターの設定、条件付き関数の設定など	フィルター設定機能、条件付き関数（SUMIF関数など）の設定の演習課題を作成する。 第9回課題1のフィルターの設定、条件付き関数などの演習を行い提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第9回課題2のフィルター機能m条件付き関数などの演習を行う。	120	分
No10	複数条件の並べ替え、グラフの編集など	複数条件の並べ替え、グラフの編集などの演習課題を作成する。 第10回課題1の複数条件の並べ替え、グラフの編集などの演習を行い提出する。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第10回課題2の並べ替え、グラフの編集などの作成演習を行う。	120	分

No11	対策が必要な分野の演習	MOS (Excel) の対策が必要な分野の課題の作成演習を行う。 第11回応用演習課題1の条件付き書式の設定、並べ替え、小計の設定の演習と作成を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第11回応用演習課題2の演習を行う。	120	分
No12	応用演習課題	応用演習課題を使った習熟度の確認演習を行う。 第12回応用演習課題1の作成演習を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第12回応用演習課題2の演習を行う。	120	分
No13	振り返り、まとめ、応用演習課題	MOS (Excel) の模擬問題を使った応用演習課題の作成演習を行う。 第13回応用演習課題1のデータの並べ替え、印刷設定、ヘッダー設定などの演習課題を作成し提出する。 今までの授業についてのまとめと復習を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第13回応用演習課題2の演習を行う。	120	分
No14	実技テストの準備 応用演習演習課題	今までの授業についてのまとめ復習を行う。実技テストの準備を行う。 名前の登録、条件付き書式の設定、グラフの作成などの演習を行い提出する。 第14回応用演習課題1で、の作成と提出を行う。		
	【予習内容】 Preparation	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。実技テストを兼ねた総合演習課題の準備を行う。	120	分
	【復習内容】 Review	第14回応用演習課題2の作成を行う。復習の学習を行う。	150	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 経営学科(2023)
記当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	情報学 BE-A
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Informatics
担当教員 Instructor	鬼木 一直
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、電機メーカーにおいて商品開発、事業戦略、マネージメント等の業務を22年間行った経験を有します。その中で培ったパソコンの実践的活用法、情報の取り扱いなどをわかりやすく解説していきます。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>企業で業務を遂行するにあたり、Microsoft社の『Excel』、『Word』、『PowerPoint』は必須アイテムともいえるソフトとなっています。これらのソフトを使いこなすためにパソコン一般知識、アプリケーション操作、情報モラル&セキュリティなどを学ぶことが必要です。本授業ではタイピングの練習、文章作成、表計算、グラフ作成などを通じ、日常の企業活動で発生するさまざまなコンピュータ知識、スキルを修得します。</p>																				
【到達目標】 Course Objectives	<p>タイピング速度60文字/分以上</p> <p>Microsoft Word、Excelの基本的な使用法の修得</p> <p>コンピュータ用語、ネットワークシステム、情報モラルの理解</p>																				
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	<p>Word、Excelの基本的な操作ができること。</p>																				
【教育方法】 Teaching Method	<p>PCを1人1台使用し、タイピングやソフトの操作を行いながらパソコンスキルを高めていきます。</p>																				
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	<p>P検協会公式テキスト「P検3級テキスト」を貸し出しますので、購入は不要です。</p>																				
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td><input type="radio"/></td> <td>思考力 ability to think</td> <td><input type="radio"/></td> <td>突破力 The power to break</td> <td><input type="radio"/></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>創造力 creativity</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control	<input type="radio"/>	思考力 ability to think	<input type="radio"/>	突破力 The power to break	<input type="radio"/>	忍耐力 endurance	<input type="checkbox"/>	協働力 ability to cooperate	<input type="checkbox"/>	主張力 assertiveness	<input type="checkbox"/>	創造力 creativity	<input type="checkbox"/>						
自制力 self-control	<input type="radio"/>	思考力 ability to think	<input type="radio"/>	突破力 The power to break	<input type="radio"/>	忍耐力 endurance	<input type="checkbox"/>														
協働力 ability to cooperate	<input type="checkbox"/>	主張力 assertiveness	<input type="checkbox"/>	創造力 creativity	<input type="checkbox"/>																

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法	
	タイピング速度60文字/分以上を目標とする	20%	PC操作を行い模擬問題を解きます。 コンピュータ知識については講義を行います。	
	Word、Excelを活用し、基本的な操作を行う	40%		
	コンピュータ用語、ネットワーク、情報モラルを理解する	40%		
	合計	100%		

【その他の注意事項】 Others	授業時間内にP検（準2級または3級）の模擬試験を実施します。
----------------------	--------------------------------

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	全体概要の説明とワープロ操作	講義内容、本試験の内容等についての説明を行い、ワープロの基本操作を修得する		
	【予習内容】 Preparation	シラバスの確認、学習内容の概要確認	120	分
	【復習内容】 Review	Wordの基本操作確認	120	分
No2	ワープロ操作	タイピングの基本を学び、文書の編集などの演習を行う		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、ワープロ操作の確認	120	分
	【復習内容】 Review	文書の編集作業の確認	120	分
No3	ワープロ操作	図の挿入や図形の作成、表の作成や編集などの演習を行う		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、ワープロ操作の確認	120	分
	【復習内容】 Review	Wordでの図形作成、表編集の確認	120	分
No4	表計算	表計算ソフトの操作を学び、関数を利用した計算などの演習を行う		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、表計算操作の確認	120	分
	【復習内容】 Review	Excelの基本操作確認	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	表計算	グラフの編集、表データの並べ替えなどの演習を行う		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、グラフ作成操作の確認	120	分
	【復習内容】 Review	グラフ編集、表データ操作の確認	120	分
No6	表計算	データの集計、シートの編集などの演習を行う		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、データ入力方法の確認	120	分
	【復習内容】 Review	データの集計、シートの編集の確認	120	分
No7	コンピュータ知識	コンピュータに関する一般的な技術用語を学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、コンピュータ基礎知識の確認	120	分
	【復習内容】 Review	コンピュータ用語の確認	120	分
No8	情報通信ネットワーク	情報通信システムに関する一般的な技術用語を学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、情報通信基礎知識の確認	120	分
	【復習内容】 Review	情報通信システム用語の確認	120	分
No9	情報モラルと情報セキュリティ	インターネットのセキュリティ対策、個人情報やプライバシーの保護について学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、セキュリティ知識の確認	120	分
	【復習内容】 Review	セキュリティ用語の確認	120	分
No10	ICTを活用した問題解決	フローチャート、データベースの活用法について学び、演習を行う		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、フローチャートの確認	120	分
	【復習内容】 Review	フローチャート、データベースの作成手順の確認	120	分

No11	P検模擬試験	実際の検定試験と同じCBT方式での模擬試験を体験し、解答方法に慣れる		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、CBT操作の確認	120	分
	【復習内容】 Review	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分
No12	P検模擬試験	P検模擬試験3級を行い、苦手分野を確認する		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、模擬試験問題の確認	120	分
	【復習内容】 Review	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分
No13	P検模擬試験	P検模擬試験3級を行い、本番試験への対策を立てる		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、模擬試験問題の確認	120	分
	【復習内容】 Review	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分
No14	P検模擬試験	本番試験に備え時間配分などを確認し、苦手項目の学習を行う		
	【予習内容】 Preparation	タイピング練習、模擬試験問題の確認	120	分
	【復習内容】 Review	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	ベンチャービジネス論 BE-K
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Venture Business
担当教員 Instructor	片山 源治郎
必修/選択 Compulsory/Elective	なし
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	40年以上にわたり医療・健康、地方創生、システム開発、エンターテインメント、金融など幅広い事業を営む担当教員が、学問と実業の融合を探究し、社会起業家の育成を進める。授業は講義と演習を組み合わせて行い、実践的に経営学のあらゆる要素について学ぶ。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>テーマ：「事業を授業に！」アイスクリーム事業からベンチャービジネスについて学ぶ</p> <p>この講義では、本学五号館に設置されたアイスクリームラボ（株式会社ジャスピコ）を中心とするアイスクリーム事業の創業からその事業発展の進行に合わせて、起業するとはどのような意味を有するのか、ベンチャービジネスとは何か、そして事業展開を目指す上で経営学はどのように活用されているのかを実践的に学びます。したがって、この授業では、講義と演習が組み合わせられる形の授業です。この講義を受講することによって、ベンチャービジネスに自分が参加する形で実践的に経営学のあらゆる要素について学ぶことができます。</p>																
【到達目標】 Course Objectives	<p>経営学に関する基礎知識を応用できる：経営学で学んだ、もしくは学んでいる知識を実践の中でどのように応用するかを、講義および演習によって習得します。</p> <p>ベンチャービジネスの特徴を理解する：ベンチャービジネスとは何か、そのビジネス上の特権、課題そして困難な問題について、経営戦略、マーケティング、ファイナンスなどが有機的に提携していることを講義および演習によって身に着けます。</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	<p>創業のための創造性を身につける：ベンチャービジネスはゼロからの創業を含みます、最初のアイデアをどう実践し、事業創造につなげるための方法論を理解していることが求められます。</p>																
【教育方法】 Teaching Method	<p>協調性を身につける：この講義は演習型の講義であり、プレゼンテーション及び他の受業生とのグループ学習を行います。他の受業生および講師と一体となってプロジェクトに取り組むという協調性を、講義および演習で身につけます。</p>																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	<p>教材はとくに使用しません、講義中に参考文献の指示、資料配布を行います。</p>																
【実務 Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>思考力 ability to think</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>突破力 The power to break</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>創造力 creativity</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control	<input type="checkbox"/>	思考力 ability to think	<input type="checkbox"/>	突破力 The power to break	<input type="checkbox"/>	忍耐力 endurance	<input type="checkbox"/>	協働力 ability to cooperate	<input checked="" type="checkbox"/>	主張力 assertiveness	<input type="checkbox"/>	創造力 creativity	<input type="checkbox"/>		
自制力 self-control	<input type="checkbox"/>	思考力 ability to think	<input type="checkbox"/>	突破力 The power to break	<input type="checkbox"/>	忍耐力 endurance	<input type="checkbox"/>										
協働力 ability to cooperate	<input checked="" type="checkbox"/>	主張力 assertiveness	<input type="checkbox"/>	創造力 creativity	<input type="checkbox"/>												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	毎回のレポート提出	30%	毎回の講義の出席状況、受講態度、プレゼンテーション・レポート評価およびアイス製造、販売、営業実習の内容で総合評価します。
	講義及び実習への参加意欲	30%	
	事業計画書の作成	40%	
合計		100%	

【その他の注意事項】 Others	<p>◇春学期の「新事業創造論（片山源治郎）」の履修が条件です。</p> <p>◇この授業は単なる講義ではありません、遅刻、欠席はもとより授業途中で居眠りや講義と関係ない作業を行った学生は即時受講停止になります。</p> <p>◇この講義を履修すれば、ビジネスそのものに触れることができます。皆さんにとって大きなチャンスです。しかし単位取得だけを目的に履修する学生はこの講義は適していません。</p>
----------------------	--

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	ベンチャービジネス論 概要	授業計画の概要と解説		
	【予習内容】 Preparation	シラバスの熟読	120	分
	【復習内容】 Review	年間計画の把握	120	分
No2	ベンチャービジネス 概論	ベンチャービジネスにおける重要事項についての特別講義		
	【予習内容】 Preparation	自己PRの台本作成	120	分
	【復習内容】 Review	ベンチャービジネスの最重要事項の理解	120	分
No3	アイスクリームのマーケティング	食育、アイスの市場調査についての解説講義		
	【予習内容】 Preparation	食品、アイス市場の規模についての調査	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の理解	120	分
No4	販売研修準備①	ダシースアイスの特徴と販売手法のディスカッション		
	【予習内容】 Preparation	ダシースアイスの特徴を公式サイトで理解する	120	分
	【復習内容】 Review	ダシースアイスの4つの特長の理解	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	販売研修準備②	販売スタッフ研修 ロールプレイング		
	【予習内容】 Preparation	商品販売における最重要事項の調査	120	分
	【復習内容】 Review	販売スタッフの想定問答の理解	120	分
No6	販売研修	大学祭でのアイス販売体験		
	【予習内容】 Preparation	ダシースアイスの特長説明の練習	120	分
	【復習内容】 Review	アイス販売の反省点の作成	120	分
No7	製造準備「衛生管理、原材料、製造工程」	飲食店営業許可、食品衛生責任者の資格取得、ダシースアイスの原材料、製造工程についての解説講義		
	【予習内容】 Preparation	食品衛生責任者の講義内容についての事前理解	120	分
	【復習内容】 Review	HACCPについての理解	120	分
No8	製造実習①「原材料準備」	ダシースでの原材料準備と衛生管理についての解説講義		
	【予習内容】 Preparation	ダシースアイスの原材料について公式サイトで調査	120	分
	【復習内容】 Review	ダシースアイスの原材料の差別化と理解	120	分
No9	製造実習②「アイスクリームの製造」	店舗でのアイス製造と提供、片付けまでの店舗実習		
	【予習内容】 Preparation	アイス製造で使用する機材の調査	120	分
	【復習内容】 Review	アイス製造過程の注意事項の再確認	120	分
No10	新フレーバー、店舗内外装の考案	ダシース新フレーバーと提供方法、店舗外装のディスカッション		
	【予習内容】 Preparation	新フレーバーの考案	120	分
	【復習内容】 Review	新フレーバーの製造工程の草案作成	120	分

No11	営業実習準備①	ビジネスマナー基礎、営業の心得についての解説講義		
	【予習内容】 Preparation	企業の新入社員研修についての事前調査	120	分
	【復習内容】 Review	受講したビジネスマナーの習得	120	分
No12	営業実習準備②	ビジネスマナー、営業についてのロールプレイング		
	【予習内容】 Preparation	ビジネスマナーの最終確認	120	分
	【復習内容】 Review	ビジネスメール作成の基本事項を調査	120	分
No13	営業実習準備③	想定するダシースアイスの営業先候補の調査と提案資料の作成、アポイントメールの作成		
	【予習内容】 Preparation	アポイントメールの基本事項を事前調査	120	分
	【復習内容】 Review	想定している企業へのアポイントメールの修正	120	分
No14	オンライン営業実習	想定している営業先へのオンライン営業の実施		
	【予習内容】 Preparation	オンライン営業の台本作成	120	分
	【復習内容】 Review	オンライン営業のフィードバックに基づいたレポートの作成	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	新事業創造論 B-A
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	New Business Creation Theory
担当教員 Instructor	片山 源治郎
必修/選択 Compulsory/Elective	なし
開講期 Course Period	春(前期)
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	40年以上にわたり医療・健康、地方創生、システム開発、エンターテインメント、金融など幅広い事業を営む担当教員が、学問と実業の融合を探索し、社会起業家の育成を進める。授業は講義と演習を組み合わせて行い、実践的に経営学のあらゆる要素について学ぶ。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>テーマ：「事業を授業に！」アイスクリーム事業を創造する</p> <p>この講義では、本学五号館に設置されたアイスクリームラボ（株式会社ジャスピコ）を中心とするアイスクリーム事業の創造からその事業展開の進行に合わせて、新事業の創造を実際に体験しながら、経営の現場で発生するさまざまな問題を皆さんと一緒に解決していきます。したがって、この事業では、講義と演習が組み合わさる形の授業です。この講義を受講することによって、新事業に自分が参加する形で実践的に経営学のあらゆる要素について学ぶことができます。</p>																
【到達目標】 Course Objectives	<p>経営学に関する基礎知識を応用する：経営学で学んだ、もしくは学んでいる知識をアイス事業の実践の中で、どのように応用できているかを講義および演習で実証します。</p> <p>事業創造の特徴を理解する：事業創造とは何か、そしてその特徴、課題そして困難な問題について、経営戦略、マーケティング、ファイナンスなどが有機的に連携していることを理解します。</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	<p>協働性を身につける：この講義は演習型の講義であり、プレゼンテーションや他の受業生とのグループ学習を行います。他の受業生および講師と一体となってプロジェクトに取り組むという協働性を身につけて、講義および演習で発揮します。</p>																
【教育方法】 Teaching Method	<p>創造性と継続性という事業創造の重要ポイントを身につける：事業は立ち上げるだけでは意味がありません。事業継続の中で、日々事業の創造が求められます。事業創造や改善のアイデアをどう実践し、事業を継続するのか、その方法論を理解しているか否かについて、講義および演習そして期末試験によって評価します。</p>																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	<p>教材はとくに使用しません、講義中に参考文献の指示、資料配布を行います。</p>																
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>思考力 ability to think</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>突破力 The power to break</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>創造力 creativity</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control	<input type="checkbox"/>	思考力 ability to think	<input type="checkbox"/>	突破力 The power to break	<input type="checkbox"/>	忍耐力 endurance	<input type="checkbox"/>	協働力 ability to cooperate	<input type="checkbox"/>	主張力 assertiveness	<input type="checkbox"/>	創造力 creativity	<input type="checkbox"/>		
自制力 self-control	<input type="checkbox"/>	思考力 ability to think	<input type="checkbox"/>	突破力 The power to break	<input type="checkbox"/>	忍耐力 endurance	<input type="checkbox"/>										
協働力 ability to cooperate	<input type="checkbox"/>	主張力 assertiveness	<input type="checkbox"/>	創造力 creativity	<input type="checkbox"/>												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	毎回のレポート提出	30%	毎回の講義の出席状況、受講態度、プレゼンテーション・レポート評価および講義終盤の事業計画書の作成内容によって総合評価します。
	講義及び実習への参加意欲	30%	
	事業計画書の作成	40%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】 Others	<p>◇秋学期の「ベンチャービジネス論（片山源治郎）」の履修が条件です。 ◇この授業は単なる講義ではありません、遅刻、欠席はもとより授業途中で居眠りや講義と関係ない作業を行った学生は即時履修停止になります。</p>
----------------------	---

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents	
No1	前期授業の概要と目的	新事業創造における重要事項の解説講義	
	【予習内容】 Preparation	シラバスの内容把握	120分
	【復習内容】 Review	授業計画の理解	120分
No2	新事業創造とは	新事業の創造、事業運営についての概論講義	
	【予習内容】 Preparation	自己PRの台本作成	120分
	【復習内容】 Review	授業内容の理解	120分
No3	ギルトフリーアイスクリーム ラボ ダシーズについて	ダシーズの目的とコンセプトの解説講義、新事業立ち上げの経緯を解説講義	
	【予習内容】 Preparation	ダシーズの公式サイト閲覧	120分
	【復習内容】 Review	ダシーズ創業の経緯の理解	120分
No4	ダシーズのコンセプトとマーケティング ¹	ダシーズのコンセプト理解「健康」「食品・アイス市場について」	
	【予習内容】 Preparation	健康市場、アイス市場の調査	120分
	【復習内容】 Review	食品市場の流行についての理解	120分

【授業計画】
Course Schedule

No5	ダシースのコンセプトとマーケティング2	ダシースのコンセプト理解「アスリートのセカンドキャリア」「今後の展開」		
	【予習内容】 Preparation	アスリートのセカンドキャリアの問題点の把握	120	分
	【復習内容】 Review	日本企業の海外市場戦略についての理解	120	分
No6	起業と企業のカタチ	新会社設立の流れ、様々な事業の実例の解説講義		
	【予習内容】 Preparation	起業するために必要な準備事項の確認	120	分
	【復習内容】 Review	起業事例の調査	120	分
No7	企業の危機管理経営	具体的なリスク・危機とは？危機管理経営の解説講義		
	【予習内容】 Preparation	コンプライアンス違反の事例調査	120	分
	【復習内容】 Review	コンプライアンスの重要性についての理解	120	分
No8	ITビジネスの可能性と未来	新事業における最新のビジネスモデルの活用についての解説講義		
	【予習内容】 Preparation	新規事業の事例調査	120	分
	【復習内容】 Review	授業で取り上げた事例以外の新規事業事例の調査	120	分
No9	マーケティングとプロモーション	ネーミングとロゴ、映像と音楽のチカラによるマーケティング講義		
	【予習内容】 Preparation	高田馬場周辺企業及び飲食店のロゴについて調べる	120	分
	【復習内容】 Review	映像及び音楽を使用したマーケティング事例の調査	120	分
No10	映像プロモーション	映像の持つ力と映像プロモーションの活用についての解説講義		
	【予習内容】 Preparation	映像マーケティングの事例調査	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の理解	120	分

No11	新規事業の立ち上げと継続	資金計画、損益計算の基礎知識講義		
	【予習内容】 Preparation	起業の資金調達の手法についての事前調査	120	分
	【復習内容】 Review	損益計算書の読み方の理解	120	分
No12	事業計画書の作成①	事業計画書の基礎知識と項目の解説講義		
	【予習内容】 Preparation	ダシズ新店舗の開店地域の調査	120	分
	【復習内容】 Review	事業計画書の作成	120	分
No13	事業計画書の作成②	新店舗オープンの事業計画書作成演習		
	【予習内容】 Preparation	事業計画書の修正	120	分
	【復習内容】 Review	事業計画書の作成	120	分
No14	事業計画書の作成③	新店舗オープンの損益計算書作成演習		
	【予習内容】 Preparation	損益計算書の読み方の理解	120	分
	【復習内容】 Review	新店舗の損益計算書の作成	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、 経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、 経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、 経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	労働法 BE-A
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Labor Law
担当教員 Instructor	黒岩 容子
必修/選択 Compulsory/Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、弁護士として30年余の実務経験を有します。授業では、実際の紛争例や裁判例を紹介しながら、労働法の基礎知識を分かり易く、かつ実際に活用できるよう講義していきます。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	この講義では、労働法の基本的枠組みや考え方、基礎知識を学びます。現代社会では、人々の多くが雇用されて働き賃金を得て生活し、また、企業は人を雇うことによって営業活動をしています。人を雇うとき、雇われるときの基本的なワーキングルールやその考え方を知っておくことは、自らが尊厳をもって生きていくためにも、公正な社会を築くうえでも必要不可欠なことです。この授業で、生きた労働法の知識を身につけてください。							
【到達目標】 Course Objectives	労働法の理念・基礎的枠組み・考え方を理解する。							
	労働法の基礎的知識を習得する。							
	事実に基づいて論理的に思考する姿勢の習得。							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	とくに条件はありませんが、「法学Ⅰ」「法学Ⅱ」等の法律科目を履修済み、ないし同時に履修していることが望ましい。							
【教育方法】 Teaching Method	講義形式です。また、ほぼ毎回復習として小レポート課題を出します。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	教科書は使用しません。授業メモおよび資料を配付します。また、授業のなかで参考文献を紹介いたします。							
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity		○	

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	労働法の理念・基礎的枠組み・考え方を理解する。	30%	小レポートと期末レポート（試験に変更する 場合がある）を総合評価する。		
	労働法の基礎的知識を習得する。	50%			
	事実に基づいて論理的に思考する姿勢の習得。	20%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	進行状況および受講生の問題関心等によって、スケジュールを変更することがあります。また、授業中は私語厳禁です。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション 労働法の歴史と機能	労働法の特徴、役割。 労働法の学び方。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
		【復習内容】 Review	小レポート	120	分
	No2	労働契約の締結	就職/採用に関する法的ルール。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
		【復習内容】 Review	小レポート	120	分
	No3	労働契約の締結	就職/採用に関する法的ルール その2。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
		【復習内容】 Review	関連参考資料を読む。	120	分
	No4	賃金	賃金に関する法的ルール。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
		【復習内容】 Review	小レポート	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	労働時間	労働時間に関する法的ルール。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
	【復習内容】 Review	小レポート	120	分
No6	労働時間 休日・休暇	労働時間に関する法的ルール その2。 休日・休暇に関する法的ルール。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
	【復習内容】 Review	小レポート	120	分
No7	人事異動	配転、出向、転籍に関する法的ルール。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む	120	分
	【復習内容】 Review	小レポート	120	分
No8	労働者の人格の尊重、平等	男女平等に関する法的ルール。 ワーク・ライフ・バランスのための法制度。		
	【予習内容】 Preparation	事前資料を読む	120	分
	【復習内容】 Review	小レポート	120	分
No9	労働者の人格の尊重、平等	障害者の権利、外国人労働者の権利。 様々なハラスメントに対する法的規制。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
	【復習内容】 Review	小レポート		分
No10	退職、解雇	退職、解雇に関する法的ルール		
	【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
	【復習内容】 Review	小レポート	120	分

No11	非正規労働者の権利	非正規労働者の権利に関する法的ルール		
	【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
	【復習内容】 Review	小レポート	120	分
No12	非正規労働者の権利	非正規労働者の権利に関する法的ルール		
	【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
	【復習内容】 Review	小レポート		分
No13	労働組合	労働組合の役割、活動。労働組合に関する法的ルール。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
	【復習内容】 Review	小レポート	120	分
No14	働く人々をサポートする制度	労災保険、雇用保険、公的医療制度、法的年金制度に関する基礎知識。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布資料を読む。	120	分
	【復習内容】 Review	関連資料を読む。	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	経営戦略論 I BE-A
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Strategic Management I
担当教員 Instructor	小倉 康嗣
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前期)
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は物流企業において取締役として15年あまりの経営経験を有しております。その経験や知見を数多く織り交ぜ、経営戦略に関する基礎知識を学びながら企業経営の現場で起きる様々なシーンについて、より実務的な知識を身に付けていきます。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	この授業では社会的インフラの一翼を担う物流業(宅配便事業)をメインケースに、経営戦略に関する基礎知識を学びながらそれぞれのテーマに事例や講師の経営経験、知見を数多く織り交ぜることで、企業経営の現場で起きる様々なシーンについて、より実務的な知識を身に付けていきます。テーマは多岐にわたり、授業はパワーポイント教材を中心に行いますが、講師によるレクチャーのみならずディスカッションやグループワークの時間を多く取り、学生自らが自発的に参加しながら理解を深める授業を目指します。																
【到達目標】 Course Objectives	経営戦略に関する専門用語を正しく理解する。 経営戦略に関する基礎知識を正しく理解する。 企業経営における諸課題を把握し、解決に導く力を身に付ける。																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	授業ではディスカッションを始め、自身の意見や質問などを積極的に発信して下さい。																
【教育方法】 Teaching Method	パワーポイント教材に沿って授業を行い、授業の進め方は講師によるレクチャーに加えて、ディスカッションやグループワークも行います。																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	指定教科書：使用せず 参考文献1：小倉昌男著『小倉昌男 経営学』（日経BP社）、1999年 参考文献2：藤田勝利著『新版 ドラッカー・スクールで学んだ本当のマネジメント』（日経BP社）2021年																
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td>○</td> <td>主張力 assertiveness</td> <td>○</td> <td>創造力 creativity</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合	評価方法	
	経営戦略に関する専門用語を正しく理解する	20	成績は授業への参加貢献度（授業中の態度や発言内容、授業中や授業後の質疑、提出されたグループワークの内容等）40%、本試験の結果60%を目安に決定します。
	経営戦略に関する基礎知識を正しく理解する	40	
	企業経営における諸課題を把握し、解決に導く力を身に付ける	40	
合計	100%		

【その他の注意事項】 Others	<p>・ 授業回数に対して3分の2以上出席した受講生が評価の対象となります。</p> <p>・ 次回のテーマについて事前に自身の考えや疑問点を整理してきて下さい。また、日頃から新聞・ニュース等で企業の取り組みなどに興味を持って目を通す習慣をつけて下さい。</p>
----------------------	---

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	ガイダンス（授業概要・評価方法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本科目の授業概要や進め方についての説明 ・ 評価方法についての説明 ・ 自己紹介、企業経営に関する印象・疑問などをディスカッション 		
	【予習内容】 Preparation	事前にシラバスに目を通し、本講義の概要を把握する。	120	分
	【復習内容】 Review	本講義の全体像や目標、授業の進め方等を理解する。	120	分
No2	経営戦略I（概論）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今週気になったニュース・話題 ・ 企業にとって経営戦略とは。経営戦略の定義づけ ・ 経営戦略の構成とそれぞれの役割 ・ TFU版「もしドラ」みんなの部活やサークル、アルバイト先に目を向けてみよう ・ 本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No3	経営戦略II（ケーススタディ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今週気になったニュース・話題 ・ ヤマトホールディングスを事例に経営戦略を説明 ・ IT（情報）LT（物流）FT（金融）を融合した事業戦略 ・ 本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No4	企業を取り巻くステークホルダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今週気になったニュース・話題 ・ ステークホルダーとは。ステークホルダーの定義づけ ・ 企業と各ステークホルダーの利害関係 ・ 企業に求められるステークホルダーに対する倫理観 ・ ステークホルダーとの良好な関係を保つための活動例 ・ 本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	サプライチェーン	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・サプライチェーンとは。サプライチェーンの定義づけ ・企業にとってなぜサプライチェーンマネジメントが重要なのか ・事例をもとにサプライチェーンの内容、範囲等を説明 ・サプライチェーン構築における重要な要素 ・ロジスティクスとは ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No6	経営理念と企業倫理・企業風土の関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・経営理念とは。事例に基づき検証 ・企業風土とは。企業風土が醸成される要因・背景 ・企業風土は経営者を映す鏡 ・企業風土が各ステークホルダーに与える影響 ・よく知る企業の企業風土を検証 ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No7	企業研究Ⅰ（ヤマト運輸の歴史・経営戦略等総論）	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・ヤマト運輸の歴史 ・宅急便はいかにして生まれたのか ・成長・衰退・躍進のターニングポイントとそれらを決定づけた経営判断 ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No8	企業研究Ⅱ（ヤマトグループの企業理念体系）	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・企業理念体系が必要となった背景 ・企業理念体系の構成・内容の説明 ・社内での浸透、社外への宣言の重要性 ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No9	企業研究Ⅲ（ヤマト運輸の課題・将来展望等）【グループワーク】	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・ネット通販の普及、コロナ禍での生活様式の変化 ・貨物量の増加と人手不足、2024年問題 ・SWOT分析による企業分析 ・このような課題にどのように対処していくべきか <p>【授業の進め方】 本授業はグループワークとし、講師より簡単なレクチャーを受けたのちテーマについてグループ毎にディスカッションしながら課題や解決策、ビジネスチャンス等についての意見をまとめ、後日レポートとして提出する。</p>		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分

No10	企業研究Ⅳ（翌日配達を実現する宅急便輸送システムとは）	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・宅急便が翌日届く秘密とは ・ハブ&スポークシステム ・ユニットロードシステム ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No11	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・企業に潜むリスク要因 ・リスクとクライシス ・事前の対策・リスクの最小化・牽制管理の必要性 ・リスクマネジメントのプロセスとリスク対策 ・ガバナンス・コンプライアンスとは ・企業不祥事の事例検証（不祥事の内容、起きた背景、事後対応の評価など） ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No12	企業の組織構造	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・組織構造の定義とその意義 ・組織構造の代表的なパターンとそれぞれの特徴や長所・短所 ・企業の実例を考察 ・企業が組織改正を行う意義や理由 ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No13	株主総会の変遷と企業の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・株主総会の意義と目的 ・取締役会設置会社における意思決定ステージ ・株主の分類と特性 ・株主構成の変化と株主総会の変遷（シャンシャン総会から開かれた総会へ） ・テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No14	ブランド戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・ブランドとは。ブランドの定義 ・ブランドイメージが形成されていく要素 ・日頃目にする企業のブランドイメージを考察 ・ブランドイメージの定量的評価を考察 ・ブランド価値構築のための「ブランド戦略」とは ・テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	経営戦略論II BE-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Strategic Management II
担当教員 Instructor	小倉 康嗣
必修／選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は物流企業において取締役として15年あまりの経営経験を有しております。その経験や知見を数多く織り交ぜ、経営戦略に関する基礎知識を学びながら企業経営の現場で起きる様々なシーンについて、より実務的な知識を身に付けていきます。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	この授業では社会的インフラの一翼を担う物流業（宅配便事業）をメインケースに、経営戦略に関する基礎知識を学びながらそれぞれのテーマに事例や講師の経営経験、知見を数多く織り交ぜることで、企業経営の現場で起きる様々なシーンについて、より実務的な知識を身に付けていきます。テーマは多岐にわたり、授業はパワーポイント教材を中心に行いますが、講師によるレクチャーのみならずディスカッションやグループワークの時間を多く取り、学生自らが自発的に参加しながら理解を深める授業を目指します。																
【到達目標】 Course Objectives	経営戦略に関する専門用語を正しく理解する。 マーケティングに関する代表的なフレームワークを理解する。 企業経営における諸課題を把握し、解決に導く力を身に付ける。																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	授業ではディスカッションを始め、自身の意見や質問などを積極的に発信して下さい。																
【教育方法】 Teaching Method	パワーポイント教材に沿って授業を行い、授業の進め方は講師によるレクチャーに加えて、ディスカッションやグループワークも行います。																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	指定教科書：小倉昌男著『小倉昌男 経営学』（日経BP社），1999年 参考文献1：藤田勝利著『新版 ドラッカー・スクールで学んだ本当のマネジメント』（日経BP社），2021年 参考文献2：岩崎夏海著『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』（新潮社），2015年																
【実務I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td>○</td> <td>主張力 assertiveness</td> <td>○</td> <td>創造力 creativity</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	経営戦略に関する専門用語を正しく理解する	40	成績は授業への参加貢献度（授業中の態度や発言内容、授業中や授業後の質疑、提出されたグループワークの内容等）40%、本試験の結果60%を目安に決定します。		
	マーケティングに関する代表的なフレームワークを理解する	20			
	企業経営における諸課題を把握し、解決に導く力を身に付ける	40			
		合計	100%		
【その他の注意事項】 Others	<p>・ 授業回数に対して3分の2以上出席した受講生が評価の対象となります。</p> <p>・ 次回のテーマについて事前に自身の考えや疑問点を整理してきて下さい。また、日頃から新聞・ニュース等で企業の取り組みなどに興味を持って目を通す習慣をつけて下さい。</p>				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス（授業概要・評価方法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本科目の授業概要や進め方についての説明 ・ 評価方法についての説明 ・ 自己紹介、企業経営に関する印象・疑問などをディスカッション 		
		【予習内容】 Preparation	事前にシラバスに目を通し、本講義の概要を把握する。	120	分
		【復習内容】 Review	本講義の全体像や目標、授業の進め方等を理解する。	120	分
	No2	ピータードラッカーの教え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今週気になったニュース・話題 ・ イノベーションとマーケティング ・ マネージャーの役割とは ・ 本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
		【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
		【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
	No3	マーケティングのフレームワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今週気になったニュース・話題 ・ マーケティングにおけるフレームワークとは ・ 4P、4Cとは。フレームワークの概要 ・ SWOT分析とは。フレームワークの概要 ・ 企業の商品・サービスをフレームワークにて検証 ・ 本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
		【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
		【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
	No4	ブルーオーシャンI	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今週気になったニュース・話題 ・ ブルーオーシャン戦略とは ・ ケースを用いて基本構造の解説 ・ ケースを用いてフレームを理解する ・ 本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
		【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
		【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	ブルーオーシャンII	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・対象企業のブルーオーシャンフレームをグループ毎に作成 ・ディスカッションをしながら完成したフレームを確認 ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No6	企業研究Ⅰ（『経営学』第1部）	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・『経営学』第1部の要点を説明 ・時代背景や経営者の視点、経営判断等についてディスカッション ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No7	企業研究Ⅱ（『経営学』第2部）	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・ヤマト運輸の歴史 ・宅急便はいかにして生まれたのか ・成長・衰退・躍進のターニングポイントとそれらを決定づけた経営判断 ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No8	企業研究Ⅲ（『経営学』第3部）	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・『経営学』第3部の要点を説明 ・時代背景や経営者の視点、経営判断等についてディスカッション ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No9	社会環境・市場の変化と商品・サービス戦略 【グループワーク】	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・ネット通販の普及、コロナ禍での生活様式の変化 ・貨物量の増加と人手不足、2024年問題 ・SWOT分析による企業分析 ・このような課題にどのように対処していくべきか <p>【授業の進め方】 本授業はグループワークとし、講師より簡単なレクチャーを受けたのちテーマについてグループ毎にディスカッションしながら課題や解決策、ビジネスチャンス等についての意見をまとめ、後日レポートとして提出する。</p>		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分

No10	財務分析Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・損益計算書・貸借対照表の基礎知識 ・主要な経営指標とそれらが示すもの ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No11	財務分析Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・投資判断手法 ・Make-or-buy Decision（内製か外注かの判断） ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No12	財務分析Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・企業の決算資料を用いて経営指標の分析、比較、将来性判断などを行う ・物流事業（労働集約産業）における人件費の重要性 ・宅急便の品質維持の鍵を握る「純収入人件費率」の重要性 ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No13	中期経営計画と年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・中期経営計画と年度計画の定義と意義 ・ヤマトホールディングスを事例に中期経営計画と年度計画を説明 ・本テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分
No14	企業が取り組む社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ・今週気になったニュース・話題 ・なぜ企業には社会貢献活動が求められるのか ・ヤマトグループが取り組む社会貢献活動の実例 ・様々な企業の社会貢献活動を列挙・検証 ・テーマに関連する専門用語の定義と解説 		
	【予習内容】 Preparation	自身の考えや疑問点を整理する。企業経営に関する気になるニュースや話題を探す。	120	分
	【復習内容】 Review	教材やノートにより内容を理解し、質問があれば教員に直接又はメールで確認する。	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、 経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、 経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、 経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年 (履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	環境経営学 BE-B
講義名 (英語表記) Name of Subject (English)	Environmental Management
担当教員 Instructor	難波 俊樹
必修/選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前期)
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員が編集者として行ってきた多くの企業取材経験を生かして、最新のESG経営の実情を講義内で伝えている。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>今、社会では、経済活動と持続可能な未来づくりの両立が求められています。気候変動への対策、汚染問題の解決、限りある資源の有効活用、など重要課題が山積しています。本講義では、持続可能な未来づくりに必要な基本的な知識を学び、ビジネスへの実装の具体例を学びます。それらを踏まえて、実際のビジネスプランを立案していただきます。</p>							
【到達目標】 Course Objectives	<p>気候変動、エネルギー問題など、環境経営を考えるうえで必要な基本的な知識を学ぶ。</p> <p>環境に配慮した様々なビジネスについての実際を学ぶ。</p> <p>社会の抱える環境的な課題に対して、それが解決できるような具体策を考えることができる。</p>							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	<p>SDGsなど環境問題に興味があり、グループワークに取り組める皆さんの参加をお待ちします。</p>							
【教育方法】 Teaching Method	<p>講義+ワークショップ</p>							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	<p>特になし</p>							
【実務I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity		○	

【成績評価・評価上の留意事項 (試験方法、単位修得要件)】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	定期試験	70%	定期試験とグループワークへの取り組み状況の総合評価となります。
	グループワークへの取り組み状況	30%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】 Others	
----------------------	--

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	ガイダンス・環境経営とは	本講義のガイダンス。 今なぜ環境経営が求められているか、また環境経営とは何かについて考察する。 【キーワード】 企業価値 競争力 消費者の意識		
	【予習内容】 Preparation	環境経営が今の社会で求められる背景の考察	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No2	持続可能な社会づくりに向けて	いま、各企業は持続可能な社会づくりのために様々な取り組みを進めている。それは単一企業の取り組みだけでなく、そのような産業システムの構築を行っている。そのシステムを事例を通して考察する。 ・グリーン投資/ESG投資 ・農業と水資源 ・フェアトレード ・困窮者		
	【予習内容】 Preparation	グリーン投資とフェアトレードについての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No3	ESG経営の現状と課題	環境に配慮した経営は、Environment、Social、Governanceの頭文字をとってESG経営と呼ばれている。本時はそれぞれの項目、「環境問題」、「社会課題の解決」、「企業統治」の解説を行い、ESG経営を実践している企業の現状と課題について考察する。		
	【予習内容】 Preparation	ESGについての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No4	気候変動と社会	気候変動が発生するメカニズムと、気候変動が社会にどのような変化をもたらすかをふまえて、それによって産業にどのような影響があるかを考察する。		
	【予習内容】 Preparation	気候変動についての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	脱炭素社会に向けて①	クリーンエネルギー・代替エネルギーの技術と現状について考察する。 ・風力、太陽光、バイオマスなど様々な代替発電 ・水素エネルギーは環境の救世主か		
	【予習内容】 Preparation	クリーンエネルギー・代替エネルギーに関する下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No6	脱炭素社会に向けて②	脱炭素社会に向けての企業の様々な取り組みの事例を考察する。 ・EV（電気自動車）の現在と未来 ・省エネルギー技術		
	【予習内容】 Preparation	EVについての下調べを行う。	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No7	公害と廃棄物問題	産業発展の陰には公害問題が ・四大公害病など、公害問題 ・さまざまな排出物の環境への影響 ・これから起こりうる新たな「公害問題」		
	【予習内容】 Preparation	四公害病についての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No8	ゼロエミッション社会に向けて①	ゼロエミッション社会を実現するための諸問題を考察する。 ・廃棄食品 ・産業廃棄物 ・海洋プラスチック汚染 ・都市鉱山		
	【予習内容】 Preparation	ゼロエミッション企業についての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No9	ゼロエミッション社会に向けて②	ゼロエミッション社会に向けての企業の様々な取り組みを紹介する。 ・リサイクルと産業 ・リユースと産業 ・アップサイクルと産業		
	【予習内容】 Preparation	リサイクル、リユース企業についての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No10	ケーススタディ 脱「肉食」への動き	畜産業が環境に与える負荷、また高まる健康意識の中で、世界中で脱「肉食」の流れがある。本講義では、畜産業がどのように環境に負荷をかけているか、世界で脱「肉食」についての、食品メーカー、外食産業など企業の取り組みを考察する。		
	【予習内容】 Preparation	世界の資源争奪戦についての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

No11	ケーススタディ アパレル業界のリサイクルの取り組み	大学生の着るファッションの多くは石油から作られた繊維は使われている。 ・素材に関する理解を深める ・繊維リサイクルの現状と技術 ・企業の取り組み		
	【予習内容】 Preparation	ファッション業界の取り組みについての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No12	最先端のESG経営企業	ESG経営の最先端のトレンドについて、さまざまな事例を取り上げ考察する。 (取り上げる企業は講義時の最新事例) 環境分野 企業の社会責任分野 ガバナンス分野		
	【予習内容】 Preparation	ESG経営の事例についての下調べ	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No13	ワークショップ「ESGビジネスコンテスト」資料作成	チームごとに「ESGビジネスコンテスト」のビジネスプランの作成を行う。		
	【予習内容】 Preparation	資料作成の準備	120	分
	【復習内容】 Review	資料の完成	120	分
No14	ワークショップ③「ESGビジネスコンテスト」発表会	チームごとにビジネスプランのプレゼンテーションを行う。		
	【予習内容】 Preparation	発表資料の準備。リハーサル	120	分
	【復習内容】 Review	発表の振り返り	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	人的資源管理論 I BE-A
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Human Resource Management I
担当教員 Instructor	洪 聖協
必修/選択 Compulsory/Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	内部統制の内外事情に詳しく、大手企業の指導・コンサルティング企業の指導及び各種セミナーで活躍中の担当教員が、人的資源管理について内容を解説しながら問題に関して討論を行う。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	働く人間というのは生産のための手段であると同時に感情を持つ存在でもあります。人間を「資源」として捉えると、モノ扱いしてしまうように聞こえてしまいます。やはり感情を持つ存在という点を無視してはいけません。感情を持つ資源という認識のもとでいかに管理するのか、この点について講義していきます。講義はレジュメに沿って進めていきます。また、DVDなどの映像資料を活用し、視聴覚的に理解を図ります。																
【到達目標】 Course Objectives	人的資源管理の「目的・歴史・制度」について理解し、説明ができるようにする。 「終身雇用・年功序列・企業別労使関係」について理解し、説明ができるようにする。 「ダイバーシティマネジメント」、「ワークライフバランス」、「ハラスメント」について理解し、説明ができるようにする。 労働CSRと人材リスクマネジメントについて理解し、説明ができるようにする。																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	必ず「人的資源管理論Ⅱ」と併せて履修するように。																
【教育方法】 Teaching Method	本授業は、テーマに沿って、その内容を解説しながら問題に関して討論を行いながら授業を進める。																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	教科書：岩出博編著『従業員満足のための人的資源管理』中央経済社 資料等：毎回レジュメを配布。																
【実務I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td>○</td> <td>主張力 assertiveness</td> <td>○</td> <td>創造力 creativity</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○												

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	確認テストを行う。「人的資源管理の目的・歴史・制度」に関連するについて理解し、用語とその意味を答えられること。	30%	①平常点15%（授業内課題提出）②中間テスト25% ③期末テスト60%
	確認テストを行う。「終身雇用・年功序列・企業別労使」に関連するについて理解し、用語とその意味を答えられること。	30%	
	「ダイバーシティマネジメント」、「ワークライフバランス」、「ハラスメント」、労働CSRと人材リスクマネジメントについて理解し、用語とその意味を答えられること。	40%	
合計		100%	

【その他の注意事項】 Others	私語禁止。携帯使用禁止。
----------------------	--------------

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	ガイダンス	人的資源管理論とは。講義の概要と評価方法など。		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No2	人的資源管理の目的	人的資源管理の役割と目的とは何か		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No3	人的資源管理の歴史①	人的資源管理の歴史的な背景は。労働者とは何か。		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No4	人的資源管理の歴史②	人的資源管理の歴史的発展段階とは。		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	人的資源管理の制度	日本の人的資源管理の制度は。		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No6	日本の人的資源管理①	終身雇用慣行とは何か。		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No7	日本の人的資源管理②	年功賃金とは何か。		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No8	日本の人的資源管理③	企業別労使関係とは何か		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No9	ダイバーシティマネジメント	ダイバーシティマネジメントとは何か。		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No10	ワークライフバランス	ワークライフバランスとは何か。		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分

No11	ハラスメント	ハラスメントとは何か。		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No12	労働CSR	労働における企業の社会的責任とは何か。		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No13	人材リスクマネジメント	人的資源管理におけるリスクマネジメントとは。		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No14	総括	全体の総まとめ		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、 経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、 経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、 経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	人的資源管理論Ⅱ BE-K
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Human Resource Management II
担当教員 Instructor	洪 聖協
必修/選択 Compulsory/Elective	なし
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	内部統制の内外事情に詳しく、大手企業の指導・コンサルティング企業の指導及び各種セミナーで活躍中の担当教員が、人的資源管理について内容を解説しながら問題に関して討論を行う。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	働く人間というのは生産のための手段であると同時に感情を持つ存在でもあります。人間を「資源」として捉えようと、モノ扱いしてしまうように聞こえてしまいます。やはり感情を持つ存在という点を無視してはいけません。感情を持つ資源という認識のもとでいかに管理するのか、この点について講義していきます。講義はレジュメに沿って進めていきます。また、DVDなどの映像資料を活用し、視聴覚的に理解を図ります。																
【到達目標】 Course Objectives	「従業員の採用・雇用調整」について理解し、説明ができるようにする。 「従業員の配置と育成」について理解し、説明ができるようにする。 「従業員能力の発揮と活用」について理解し、説明ができるようにする。また「従業員の評価と処遇」について理解し、説明ができるようにする。																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	必ず「人的資源管理論Ⅰ」と併せて履修するように。																
【教育方法】 Teaching Method	本授業は、テーマに沿って、その内容を解説しながら問題に関して討論を行いながら授業を進める。																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	教科書：岩出博編著『従業員満足のための人的資源管理』中央経済社 資料等：毎回レジュメを配布。																
【実務I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td>○</td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td>○</td> <td>主張力 assertiveness</td> <td>○</td> <td>創造力 creativity</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity			
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity													

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法
	「従業員の採用・雇用調整」に関連する用語とその意味を答えられること	30%	①平常点15%（授業内課題提出）②中間テスト25% ③期末テスト60%
	「従業員能力の発揮と活用」に関連する用語とその意味を答えられること	30%	
	「従業員の評価と処遇」に関連する用語とその意味を答えられること	40%	
合計		100%	

【その他の注意事項】 Others	私語禁止。携帯使用禁止。
----------------------	--------------

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	ガイダンス	講義の概要と評価方法など		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No2	人的資源管理の機能	経営における人的資源管理の機能		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No3	従業員の採用①	新卒採用の手続き		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No4	従業員の採用②	新卒者の早期離職と雇用のミスマッチ		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	雇用調整	従業員の離職・退職と雇用調整		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No6	従業員の配置と育成①	人事異動制度の内容		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No7	従業員の配置と育成②	教育訓練・能力開発		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No8	従業員能力の発揮と活用①	従業員業績の向上の公式とメカニズム		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No9	従業員能力の発揮と活用②	職場管理者のリーダーシップ		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No10	従業員能力の発揮と活用③	労働環境の最適化と新たな勤務形態		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分

No11	現代日本の人的資源管理	【レポート課題】		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No12	評価と処遇①	人事評価制度の手続き		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No13	評価と処遇②	処遇評価の成果主義化		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
No14	評価と処遇③	今日の福利厚生		
	【予習内容】 Preparation	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
	【復習内容】 Review	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年(履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	中小企業論 I BE-B
講義名(英語表記) Name of Subject (English)	Theory of Small Business I
担当教員 Instructor	前田 勝則
必修/選択 Compulsory/Elective	なし
開講期 Course Period	春(前期)
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	国の中小企業の支援機関で20年以上、中小企業の診断業務等に従事。 企業支援の実務経験を活かし、中小企業の持つ多様性や多面性を具体的にイメージできるよう、中小企業の様々な事例などを紹介しながら講義を進める。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	<p>中小企業は、日本の全企業数のうち99.7%を占め、私たちの生活に密着したサービスを提供しています。普段の生活のなかで何気なく利用している飲食店や美容院の多くは中小企業です。</p> <p>本講義では、日本の経済において多様な役割を果たしている中小企業について、産業・社会における位置づけや地域経済での役割など、多様な側面から学びます。また、中小企業の特性や抱える課題の理解を進めたくうえで、中小企業政策の考え方や特徴など、中小企業支援の視点からも中小企業の理解を深めていきます。</p>																
【到達目標】 Course Objectives	<p>「中小企業とは何か、どういう存在か」を理解し、わが国における中小企業の社会・経済的な位置づけや役割を理解する</p> <p>中小企業の持つ優位性・発展性などの特性や中小企業の経営で抱える課題を理解する</p> <p>中小企業に期待される役割を理解し、中小企業政策の考え方や特徴を理解する</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	特になし																
【教育方法】 Teaching Method	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の支援現場で働く実務経験を活かし、中小企業の持つ多様性や多面性をできるだけ具体的にイメージできるよう、中小企業の事例などを紹介しながら講義を進めます。 ・講義で使用するテキストは毎回、パワーポイントで作成した資料を提供します。 																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	<p>参考書：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青山和正著『精解中小企業論』同友館 ・中小企業白書、その他 																
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td></td> <td>思考力 ability to think</td> <td>○</td> <td>突破力 The power to break</td> <td></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td>○</td> <td>創造力 creativity</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity			○
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance											
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity			○										

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合	評価方法
	試験（定期試験） ※授業回数の2/3の出席を満たすことが前提	100% ・試験（定期試験） ※授業回数の2/3の出席を満たすことが前提
	合計	100%

【その他の注意事項】 Others	特になし
----------------------	------

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	ガイダンス	・本講義のねらい、授業の進め方 ・「中小企業とは何か」		
	【予習内容】 Preparation	中小企業の定義や範囲等	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分
No2	中小企業の存立形態①	・存立形態の定義と区分・種類 ・企業的家族経営の特徴 ・下請制の定義・動向、取引構造の変化 ・グローバルニッチトップの特徴		
	【予習内容】 Preparation	中小企業の存立形態、下請制	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分
No3	中小企業の存立形態②	・ベンチャー企業の特徴、動向 ・ソーシャルビジネス等の特徴、動向 ・中小企業の様々な形態の動向と課題		
	【予習内容】 Preparation	ベンチャー企業、ソーシャルビジネスの特徴	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分
No4	中小企業の存立条件	・中小企業の存立条件 ・日本における中小企業の歴史の変遷 ・戦後の中小企業発展の軌跡と中小企業問題等		
	【予習内容】 Preparation	中小企業の存立条件、歴史の変遷	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	中小企業のグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業のグローバル化の背景 ・ 中小企業のグローバル化の動向と課題 ・ 中小企業の海外展開 		
	【予習内容】 Preparation	中小企業の海外展開の動向	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分
No6	中小企業のIT化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業を取り巻くデジタル化の背景 ・ 中小企業のIT化の動向と課題 ・ 中小企業のデジタル化の取組みと課題 		
	【予習内容】 Preparation	中小企業のIT化、DX化の動向	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分
No7	中小企業の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業における人材育成の特徴、動向 ・ 経営資源としてのヒトの重要性 ・ 最近の人材育成の動向（人的資本への関心の等） 		
	【予習内容】 Preparation	中小企業の人材育成	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分
No8	中小企業の資金調達	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業を取り巻く資金調達の動向 ・ 中小企業の資金調達の手段 ・ 中小企業向けの金融支援 		
	【予習内容】 Preparation	中小企業の資金調達	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分
No9	地域と中小企業①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業集積の類型、特徴や役割 ・ 産業集積を取り巻く環境の変化 ・ 産業集積における課題 		
	【予習内容】 Preparation	産業集積の特徴	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分
No10	地域と中小企業②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業集積の類型、特徴や役割 ・ 商業集積を取り巻く環境 ・ 商店街、ショッピングセンター、中心市街地等の特徴等 		
	【予習内容】 Preparation	商業集積（商店街、ショッピングセンター等）の特徴	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分

No11	中小企業のライフサイクル①	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルから見た中小企業 ・起業を取り巻く現状と課題ライフサイクル ・中小企業のイノベーション・オープンイノベーションの取組み 		
	【予習内容】 Preparation	起業や中小企業のイノベーション	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分
No12	中小企業のライフサイクル②	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルから見た中小企業 ・事業承継を取り巻く現状と課題 ・中小企業の再生、廃業の実態等 		
	【予習内容】 Preparation	中小企業の事業承継、再生	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分
No13	中小企業政策①	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業基本法とは何か ・中小企業政策の体系と考え方 ・中小企業の支援機関と支援施策 		
	【予習内容】 Preparation	中小企業基本法、中小企業政策	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分
No14	中小企業政策② 授業のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい中小企業政策の動き ・これまでの授業のまとめ 		
	【予習内容】 Preparation	・第1回～13回目までの学習ポイント	120	分
	【復習内容】 Review	授業で使用する講義資料の内容	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年 (履修対象) Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	中小企業論 I BE-A
講義名 (英語表記) Name of Subject (English)	Theory of Small Business I
担当教員 Instructor	金澤 昭人
必修/選択 Compulsory/Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、40年間勤務した行政機関において一貫して中小企業の指導・支援に、あらゆるテーマに直接かかわってきた経験を有します。その実務経験にもとづき得られた理論や手法、知識をわかりやすく学術的に講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	日本の経済で大きな役割を担っているのが中小企業であり、会社数で9割以上、就労人口で約7割を占めるとも言われています。ただし、中小企業は大企業に比べ、ヒト・モノ・カネの経営資源が乏しく、大企業とは異なる戦略や知恵と工夫により生き残り、経済社会に貢献しています。本講座では、規模、業種、業態など日本における様々な中小企業の現状およびその取り巻く社会環境などを理解することにより、その魅力と問題点を解明し、これから経済社会にどう貢献していくべきかなどを学びます。																
【到達目標】 Course Objectives	<p>中小企業に関する基礎的な用語や知識を習得することにより、日本の経済を支える中小企業というものの実態を理解し学んでいけるようになること (第1段階)</p> <p>中小企業を取り巻くどのような社会的環境であるのかを習得することにより、中小企業がどのように維持できてきたのかを理解し学んでいけるようになること (第2段階)</p> <p>中小企業の経営を維持するのにその抱える問題にどのように向き合っているかを理解し、また将来どのように向き合っていけばよいのかを考えられるようになること (第3段階)</p>																
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	日本の経済に将来かかわっていくうえで、中小企業というものを理解することは重要であると認識を持っている人。 将来企業経営を目指す人または中小企業で働いていこうと考えている人。																
【教育方法】 Teaching Method	授業は、基本的には使用するテキストに沿って進めながらも、実際の中小企業の現場の話を盛りだくさんに紹介していくことにより、日本の中小企業とその経営の実態をより深く解明していこうと思います。 基本中小企業論 I と II の通年での実施となりますが、単独でも理解できるよう工夫して進めていきます。																
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	関知宏 (編集) 多数 (著) 「よくわかる 中小企業」 ミネルヴァ書房 2020年																
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table border="1"> <tr> <td>自制力 self-control</td> <td><input type="radio"/></td> <td>思考力 ability to think</td> <td><input type="radio"/></td> <td>突破力 The power to break</td> <td><input type="radio"/></td> <td>忍耐力 endurance</td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>協働力 ability to cooperate</td> <td><input type="radio"/></td> <td>主張力 assertiveness</td> <td><input type="radio"/></td> <td>創造力 creativity</td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> </table>	自制力 self-control	<input type="radio"/>	思考力 ability to think	<input type="radio"/>	突破力 The power to break	<input type="radio"/>	忍耐力 endurance	<input type="radio"/>	協働力 ability to cooperate	<input type="radio"/>	主張力 assertiveness	<input type="radio"/>	創造力 creativity	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
自制力 self-control	<input type="radio"/>	思考力 ability to think	<input type="radio"/>	突破力 The power to break	<input type="radio"/>	忍耐力 endurance	<input type="radio"/>										
協働力 ability to cooperate	<input type="radio"/>	主張力 assertiveness	<input type="radio"/>	創造力 creativity	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>										

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	中小企業に関する基礎的な用語や知識を習得しているかを評価する	30	各テーマごとに講義中の回答、小テスト、小演習、論述試験等により総合的に評価を行う。		
	中小企業経営に関する基礎的な用語や知識を習得しているかを評価する	30			
	中小企業が抱える問題がどのようなものがあるかまたどのように向き合っているかを習得しているかを評価する	40			
合計		100%			
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス 中小企業の本質を知る	中小企業とは何か 中小企業のイメージ 中小企業の存立実態 多様な中小企業とその視点 特徴、ヒト、活躍の場 中小企業の統計 中小企業の理論：経済学の古典		
		【予習内容】 Preparation	テキスト2～15	120	分
		【復習内容】 Review	テキスト2～15	120	分
	No2	中小企業の歴史を知る	明治期から戦時期の中小企業 千五の高度成長と中小企業（1950、60年代） 安定成長期の中小企業（1970、80年代） 低成長期からこんにちまでの中小企業（1990年代以降）		
		【予習内容】 Preparation	テキスト16～23	120	分
		【復習内容】 Review	テキスト16～23	120	分
	No3	中小企業政策を知る	中小企業政策とは 中小企業対策費、中小企業政策の実施実態 中小企業庁 中小企業基本法 中小企業政策の展開 中小企業憲章と新しい中小企業政策 地方自治体の中小企業政策 公設試験研究機関と中小企業 小規模企業振興 商工会議所と商工会 中小企業診断士		
		【予習内容】 Preparation	テキスト24～47	120	分
		【復習内容】 Review	テキスト24～47	120	分
	No4	中小企業経営を知る 1	中小企業経営の特徴 生産的側面、財務的・金融的側面 中小企業に求められる社会的責任 ファミリービジネスを中小企業		
		【予習内容】 Preparation	テキスト48～55	120	分
		【復習内容】 Review	テキスト48～55	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	中小企業経営を知る2	生業的経営の特徴と課題 事業の承継と発展 中小企業の会計 中小企業の税制		
	【予習内容】 Preparation	テキスト56～63	120	分
	【復習内容】 Review	テキスト56～63	120	分
No6	中小企業労働の実態を知る	中小企業で働く 中小企業の経営者 中小企業の労働者 中小企業とキャリア教育		
	【予習内容】 Preparation	テキスト64～71	120	分
	【復習内容】 Review	テキスト64～71	120	分
No7	中小企業金融の実態を知る	日本の金融システム 中小企業金融の実態 地域金融の実態 新しい中小企業金融・地域金融の潮流		
	【予習内容】 Preparation	テキスト72～79	120	分
	【復習内容】 Review	テキスト72～79	120	分
No8	中小企業の情報化を知る	中小企業における情報化の進展 ものづくり中小企業における生産現場のデジタル化 IT化の進化と新しい創業の形 IoTと中小企業		
	【予習内容】 Preparation	テキスト80～91	120	分
	【復習内容】 Review	テキスト80～91	120	分
No9	下請中小企業を知る	下請けとは何か 下請けをめぐる論議 下請け中小企業の存立と存立展望 サポートインダストリーという考え方		
	【予習内容】 Preparation	テキスト92～101	120	分
	【復習内容】 Review	テキスト92～101	120	分
No10	中小企業のネットワークを知る	中小企業とネットワーク 企業組合、異業種交流 新連携、農工商連携、地域資源活用プログラム		
	【予習内容】 Preparation	テキスト102～106	120	分
	【復習内容】 Review	テキスト102～106	120	分

No11	中小企業の財務 1	中小企業の経営における会計処理について		
	【予習内容】 Preparation	事前に資料配布のうえ問題について考えてくる	120	分
	【復習内容】 Review	事前配布資料による間違えた点の復習	120	分
No12	中小企業の財務 2	中小企業の財務データの基本		
	【予習内容】 Preparation	事前に資料配布のうえ問題について考えてくる	120	分
	【復習内容】 Review	事前配布資料による間違えた点の復習	120	分
No13	中小企業の財務 3	中小企業の財務データの活用（決算書の見方（初級編））		
	【予習内容】 Preparation	事前に資料配布のうえ問題について考えてくる	120	分
	【復習内容】 Review	事前配布資料による間違えた点の復習	120	分
No14	まとめ	今までの授業の総括・学習達成度の確認を行い、授業内容をとおして、中小企業の在り方を学び将来に向けた展望を考える		
	【予習内容】 Preparation	今までの講義内容を再確認する	120	分
	【復習内容】 Review	今までの講義内容を再確認する	120	分